

第3章

良好な景観形成に 関する方針



第3章 良好な景観形成に関する方針

1 良好な景観形成に関する方針の構成

景観形成の理念と目標
 【基本理念】
「ほくと・美しい風景づくり」をめざして
 【景観形成の目標】
自然・風土・歴史文化に根ざした風景づくり
地域が元気になり、おもてなしの心のある風景づくり
協働による愛着と誇りのもてる風景づくり

景観形成方針

- 山岳・眺望景観の形成方針
美しい山岳景観と優れた眺望景観を守り、生かす
- 自然景観の形成方針
生物の多様性を支える豊かな森と水辺の自然と風景を守り、生かす
- 里山・農村景観の形成方針
美しく個性的な里山や農の風景を守り、育てる
- 歴史・文化的景観の形成方針
先人の知恵と歴史や文化を伝える風景を守り、育てる
- 界わい景観の形成方針
観光リゾート地域にふさわしいおもてなしの感じられる景観をつくる
- 暮らしの景観の形成方針
地域に息づく暮らしの景観を守り、育てる
- 景観のルールづくりの方針
良好な景観形成を図るためのルールを創る

エリア別景観形成方針

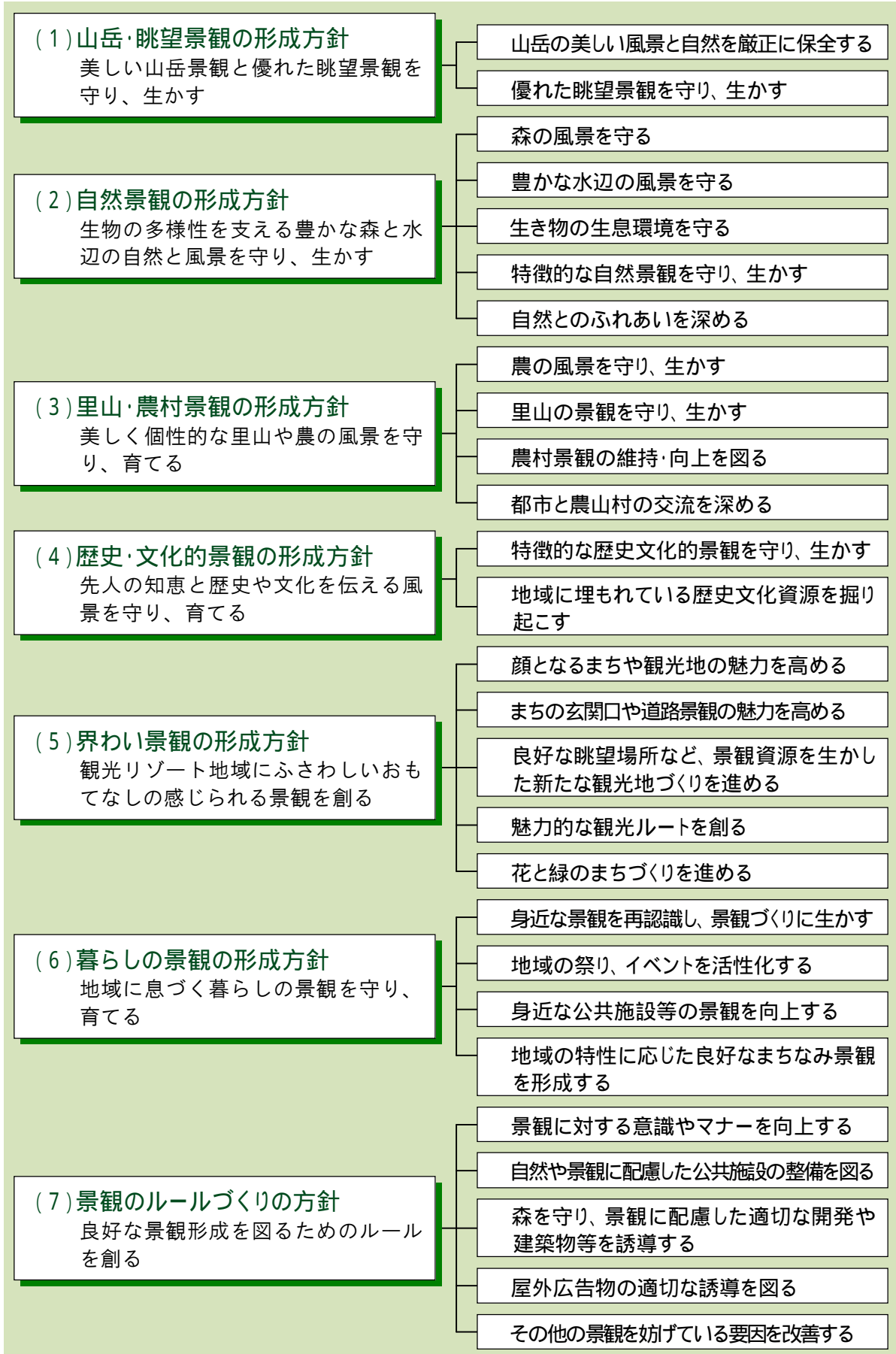
- 茅ヶ岳・みずがき山麓エリアの景観形成方針
元気な風景づくり
- 八ヶ岳南麓エリアの景観形成方針
愛着と誇りのもてる風景づくり／活力をつくる風景づくり／みんなが楽しめる心地よい風景づくり
- 甲斐駒ヶ岳山麓エリアの景観形成方針
古道の歴史文化と甲斐駒から広がる風景づくり

景観形成推進ゾーンの方針

<p><茅ヶ岳・みずがき山麓エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ①茅ヶ岳広域農道周辺ゾーン ②若神子～大豆生田周辺ゾーン ③津金の田園集落ゾーン ④増富ラジウム温泉峡周辺ゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ④川俣川周辺ゾーン ⑤谷戸城跡周辺ゾーン ⑥富士見坂・三分一湧水周辺ゾーン ⑦JR 小海線大曲周辺ゾーン ⑧下笹尾の田園集落ゾーン ⑨清春芸術村周辺ゾーン
<p><八ヶ岳南麓エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ①小淵沢駅・小淵沢 IC 周辺ゾーン ②長坂駅～長坂 IC 周辺ゾーン ③清里駅および周辺高原ゾーン 	<p><甲斐駒ヶ岳山麓エリア></p> <ul style="list-style-type: none"> ①台ヶ原地区を核とした旧甲州街道周辺ゾーン ②環状の回遊ルート周辺ゾーン

2 景観形成方針

景観形成方針の体系



(1) 山岳・眺望景観の形成方針

基本方針 美しい山岳景観と優れた眺望景観を守り、生かす

山岳の美しい風景と自然を厳正に保全する

本市を取り囲む八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、瑞牆山・茅ヶ岳等の山々は、本市のシンボルとなっており、多くの市民や登山者に親しまれています。

山岳地域一帯は、国立公園区域や国定公園区域、県立自然公園区域に指定されており、奇岩や岩稜帯に加え高山帯特有の森林、美しいアカマツ林など、豊かな森林と多彩な林相に被われ、四季折々の美しい変化をみせてくれます。この美しく個性的な山岳景観は、本市のみならず、わが国が誇る第一級の山岳景観といえます。

このような山岳景観を厳正に保全し、後世に継承するため、次のような取り組みを図ります。

森林の保全

高山帯特有のシラビソ等の針葉樹やダケカンバ等の落葉広葉樹、森林地域に広がるアカマツ林など、多彩な林相からなる森林帯の厳正な保全を図るとともに、森林整備計画に基づく計画的な森林の整備・維持を図ります。

自然や景観に配慮した施設整備

「自然公園法」や「山梨県自然環境保全条例」等に基づく行為の規制を図るとともに、林道、登山道、ハイキングルート、眺望場所、山小屋、治山施設（堰堤等）などの整備に際しては、多自然型工法の導入など、自然や景観に配慮した施設整備を促進します。

貴重な動植物の保護、生息環境の保全

高山植物が群落となっているお花畑や国の特別天然記念物（絶滅危惧種）であるニホンカモシカなど、貴重な動植物の保護、生息環境の維持・保全を図ります。



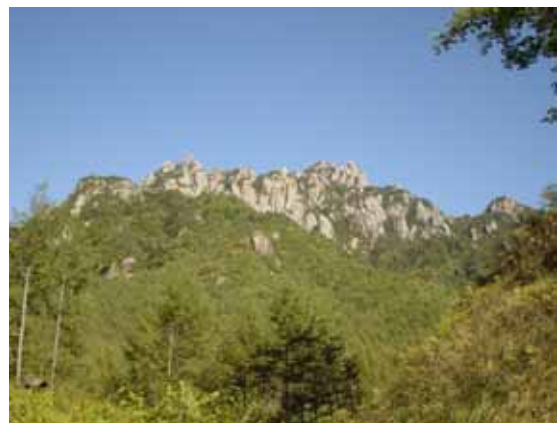
・八ヶ岳連峰



・甲斐駒ヶ岳



・茅ヶ岳と富士山



・瑞牆山

優れた眺望景観を守り、生かす

本市は、山岳地域のみならず、各山麓のいたる所から八ヶ岳連峰、茅ヶ岳や瑞牆山などの秩父山地、甲斐駒ヶ岳などの南アルプスの山々を眺めることができ、特に、高台からは、これらの山々に加えて遠く富士山や北アルプスなどを一望する大パノラマ景観が展開しているなど、優れた眺望景観を有しています。

また、市内には、眺望に恵まれた道路、公園・広場や観光施設をはじめ、あまり知られていない優れた眺望場所（ビューポイント）が数多く分布しています。

こうした優れた眺望場所は、貴重な観光資源でもあり、魅力的な観光スポットとして生かしていくため、次のような取り組みを図ります。

良好な眺望場所の掘り起こし

フィールドワーク等の市民参加イベントなどにより、市内の良好な眺望場所探しやビューポイントの選定を行い、新たな眺望場所の掘り起こしを図ります。

良好な眺望場所の魅力の向上と景観の保全

良好な眺望場所については、眺望広場の整備、案内板・サイン等の設置など、魅力の向上を図るとともに、電線、広告・看板など景観を妨げる要因について必要に応じて改善を図ります。

良好な眺望場所を結ぶルートづくり

その他の景観資源などとあわせて、景観マップの作成、良好な眺望場所へのアクセスや相互に結ぶルートの案内、誘導サインの設置などによるルートづくりを図ります。



・美し森からの眺望



・七里岩から鳳凰三山の眺望

(2)自然景観の形成方針

基本方針 生物の多様性を支える豊かな森と水辺の自然と風景を守り、生かす

森の風景を守る

森林は、景観だけでなく、生物の多様性を支える多面的な機能をもつ大切な自然資源です。市域の大部分を占める森林は、アカマツ林を主体に、標高や地域によって広葉樹や針葉樹の多様な林相からなり、四季折々の美しい風景を見せてくれ、自然とふれあう場として市民や観光客等に親しまれています。

しかしながら、松くい虫の被害や手入れが行き届かないため、森林の荒廃が進んでいるほか、別荘等の宅地開発や森林の伐採に伴い、森林も減少しています。水源涵養、自然災害の防止、多様な生物の生息環境など、森林の持つ多面的な機能を保全するとともに、本市の美しい景観を守り、自然とのふれあいを高めるため、次のような取り組みを図ります。

森林の適正な管理による森林景観の維持

「北杜市森林整備計画」や「北杜市里山整備事業」等に基づき、森林の保全、森林整備、松くい虫対策などの適正な管理を図るとともに、森林に対する適正な開発の誘導、市民参加等による自生樹木等の植樹活動など、森林の保全、再生に向けた取り組みを推進します。



・市内で行われている森づくり活動



・不要木が除去されて明るくなったアカマツ林

森林の有効活用

森林療法や森林環境学習、森林レクリエーションの場の整備、バイオマスエネルギー等の活用など、森林の多面的な機能を有効に活用する取り組みを推進します。



・市内で行われている森林環境学習



・おおぞら子どもキャンプ



・森林療法に活用されている本谷川沿いの森

豊かな水辺の風景を守る

市内を流れる釜無川、塩川、須玉川は、本市の骨格的な自然景観の軸となっています。

また、尾白川、大武川、川俣川をはじめ、市内を流れる数多くの中小の河川や水路、湧水群、溪谷、滝、ダム湖、農業用水路や農業ため池群などの水辺資源は、動植物の重要な生息空間であり、地域にうるおいを与え、景観を特徴づけているとともに、水辺レクリエーションの場として市民や観光客等に親しまれています。

こうした豊かな水辺の風景を守り、生かしていくため、次のような取り組みを図ります。

清流の回復と水辺景観の向上

下水道の整備促進、合併浄化槽の普及、ごみの不法投棄の防止等により、清流の維持・回復に努めるとともに、自然護岸など、自然や生態系、景観に配慮した河川や水路の整備、河川緑化、市民参加による河川美化活動等により、水辺景観の向上を図ります。

また、武川地区柳沢などでは、ホタルを育てる取り組みが行われており、今後もこうした取り組みを広げていきます。



・尾白川溪谷



・自然や景観に配慮した石空川の砂防堰堤

良好な水辺レクリエーションの場づくり

市民や観光客等に親しまれている水辺空間をはじめ、市内に数多く分布する水辺資源については、環境や景観に配慮しながら水辺レクリエーションの場としての活用を推進します。



・レクリエーションの場となっている川俣川



・みずがき湖

水辺のネットワークづくり

河川沿いの散策ルートや自転車ルートをはじめ、多様な水辺レクリエーションの場を結ぶルートづくりなど、水辺のネットワークづくりを検討します。



・河川沿いの散策ルート



・すずらん池の散策路

生き物の生息環境を守る

標高差のある本市は、山岳地域から山麓まで、貴重な動植物が多く確認されています。

山岳地域では、瑞牆山のアズマシャクナゲの群生地をはじめとした高山植物や須玉のヒカリゴケなど、貴重な植物が分布しています。市街地や集落地周辺の里山や水辺、雑木林、水田などでは、フクロウ、ヒバリやキジなどの鳥類、鹿やタヌキ、リスなどの獣類、国の天然記念物に指定されているオオムラサキ等の蝶類、ホタルなどの昆虫類、トノサマガエルなどの両生類、ウグイやオイカワなどの魚類など、多種多様な生き物が生息しています。

近年、森林の荒廃、都市化に伴う森林の減少、河川の汚濁、農薬の使用、外来種の増加などにより、動植物の生息・生育環境への影響が懸念されています。

こうした生き物の生息環境を守るため、次のような取り組みを図ります。

動植物の生息環境の維持・保全

生物の生息調査、監視の強化、生息の場となっている森林や水辺に対する適切な保全措置の検討、市民や観光客等に対する啓発を推進するとともに、市民参加による生息環境の保全活動などを促進します。

自然や生態系に配慮した施設整備

道路の擁壁や法面、河川の護岸等の施設整備や災害時の復旧工事などにあたっては、多様な生物の生息環境を守るためにも、多自然型工法や近自然工法など、将来的にもとの自然に回復できるような工法を採用するなど、自然や生態系、景観に配慮した施設整備を推進します。



・生き物の生息環境である豊かな森



・アズマシャクナゲ



・高山植物



・アカマツ林



・カラマツ林



・ヒカリゴケ



・フクロウ



・ヤマネ



・オオムラサキ

特徴的な自然景観を守り、生かす

「山梨県自然環境保全条例」により、自然環境保全地区として指定されている「七里岩」、「岩山」、「大平」、「清水谷」、「観音峠・茅ヶ岳」、「紅葉橋周辺」、「川俣川」、「国蝶オオムラサキ生息地」をはじめ、市内に多く分布する特徴的な自然景観については、周辺も含めた自然景観の保全を図るとともに、まちづくり（観光や活性化等）への活用を図ります。



・七里岩と水田の風景



・川俣川東沢の風景



・紅葉橋周辺の風景



・まきば公園と八ヶ岳

自然とのふれあいを深める

森や水辺など、自然とのふれあいを深めるために、自然とのふれあいの場の整備、森林療法や環境学習の推進、エコツーリズムやグリーンツーリズムの推進を図ります。



・市内で行われている自然観察会



・市内で行われている自然観察会

(3) 里山・農村景観の形成方針

基本方針 美しく個性的な里山や農の風景を守り、育てる

農の風景を守り、生かす

各山麓地域には、牧草地、水田や野菜畑、果樹園などの農地が広く分布しており、山岳を背景に里山や集落地、樹林地が一体となって、特色ある田園景観を形成しています。

しかしながら、近年の宅地化の進行による農地の減少、耕作放棄地の増加等により、良好な農村風景が失われつつあります。

本市の郷土景観を象徴する農の風景を守るため、次のような取り組みを図ります。

優良農地の保全

農業振興地域整備計画等に基づき、計画的な優良農地の保全や農業基盤整備を推進し、地域農業の活性化を図るとともに、深刻化する鳥獣害対策を促進します。

棚田等の特色ある農地の保全

山麓一帯は全体的に緩やかな傾斜地形であるため、段々畑や棚田が多くみられ、石積みで築かれた農地は田園景観の大きな特徴となっています。

特に、須玉地区の急峻な河岸段丘にみられる棚田は、特徴的な景観を形成しており、人々の長い営みの中で形づくられた文化的景観として保全に努めます。

耕作放棄地の有効利用

増加する耕作放棄地については、市で実施している「北杜市担い手農業者育成助成金制度」や「地域おこし協力隊事業」、「就農者住宅の確保」など、農業の担い手育成のための施策を推進するとともに、農業法人化など、農地の流動化策の導入を促進します。また、観光農園や体験農園、クラインガルテン（滞在型市民農園）、景観緑地（お花畑等）など、多面的な活用について検討を図ります。



・ 棚田の景観（須玉地区）



・ 広がりのある田園景観（武川地区）

里山の景観を守り、生かす

里山は、山菜採りやキノコ採りなど、地域の暮らしと関わりの深い山（森）で、山麓地域に広く分布しています。本市の特色であるアカマツ林を中心とした里山の風景は、各地域の地形構造と相まって集落地や農地等が一体となって地域景観を特徴づけていますが、近年は、松くい虫等による被害や手入れが行きとどかず荒廃しているところも多くみられます。

このため、「北杜市森林整備計画」や「北杜市里山整備事業」に基づく森林の保全と適正な管理、植林等を推進するとともに、市民による手入れや植樹活動等を促進し、里山の機能や景観の維持を図ります。



・ 集落の背景としての里山の景観（須玉地区）



・ 谷戸に沿って風景を分節化している里山の景観（長坂地区）

農村景観の維持・向上を図る

古代の放牧、江戸時代の新田開拓など、永い歴史と人々の暮らしや営みを背景に、各山麓一帯には、果樹園、畑地、水田等に囲まれた集落地、山間地域に点在する小さな集落地など、大小の集落地が分布し、農地や里山と一体となって特色ある農村景観を形成しています。このような特色ある農村景観の維持・向上を図るため、次のような取り組みを図ります。

景観を特徴づけている資源の維持・保全

特色ある地形構造と風土や人々の営みにより形づくられた集落の形態、地形に沿った道、地域のシンボルとなっている鎮守の森、大木・古木、蔵や石積みなどの建造物、屋敷林、農業用水路など、農村景観を特徴づけている景観資源については、その維持・保全に努めます。

農村の家並みの向上

里山、農地等と一体となった各々の集落地がもっている風景の持ち味を損なわないよう、地域のルールに基づき、垣・柵、緑化、建物など、周辺景観と調和する家並みの誘導を促進します。

空き家対策、過疎集落対策の推進

中山間地域の集落地に増加している空き家については、「空き家バンク制度」等を活用して、有効な活用を促進します。

また、山間集落など、過疎化や高齢化の進行により、集落としての存続が危ぶまれているところについても対応策を検討します。

特色ある集落景観の維持

市内には、八ヶ岳南麓の長沢、箕輪、下笹尾、茅ヶ岳山麓の浅尾や斑山に抱かれた津金、甲斐駒ヶ岳山麓の横手や甲州街道の宿場町として栄えた台ヶ原、教来石など、古い歴史をもつ集落地が多く分布しています。こうした集落地の景観は、本市を特徴づける集落景観として、周辺の里山や農地と一体的に景観の維持・向上に努めます。



・里山に包みこまれたような農村の風景（須玉地区） ・扇状地に展開する農村の風景（白州地区）

都市と農山村の交流を深める

農山村地域の魅力と活力の向上を図るため、上記のような景観の維持・向上と併せて次のような都市と農山村との交流を促進します。

観光農園等の普及

市民や観光客等が身近に農業を体験し、農業とふれあう場として観光農園、体験農園、クラインガルテン（滞在型市民農園）の普及を促進します。

グリーンパーク（農産物直売所）の整備

地産地消を促進し、市民と観光客等の交流の場となるグリーンパーク（農産物直売所）の整備を促進します。

グリーンツーリズムやリトリート（長期滞在）等の推進

農家に宿泊し、農業体験や農村生活を体験するグリーンツーリズムや自然とのふれあいを深める環境教育、エコツーリズム、フットパス、豊かな自然のなかで長期に滞在するリトリートや二地域居住の推進を図ります。



・クラインガルテン（高根地区）

(4) 歴史・文化的景観の形成方針

基本方針 先人の知恵と歴史や文化を伝える風景を守り、育てる

特徴的な歴史・文化的景観を守り、生かす

本市の歴史は古く、地域固有の歴史性ととともに、遺跡や史跡、社寺、古道や歴史的なまちなみ、古民家等の歴史的建造物など、数多くの歴史文化資源が分布しています。

こうした歴史文化資源は、地域の成り立ちや歴史文化を知り、北杜市らしさ、ふるさと意識を育む大切な資源であるため、その価値や魅力について再認識し、資源の保全と観光やまちづくりへの活用に向けて次のような取り組みを図ります。

遺跡・史跡の保存と活用

市内には、大泉地区の金生遺跡、明野地区の梅之木遺跡や穴塚古墳、小淵沢地区の中原遺跡や上平井出遺跡など、縄文時代からの遺跡が多く発掘されており、八ヶ岳南麓を中心に多く分布しています。

また、戦国時代、武田信玄の信州攻略の重要な軍事的拠点であったことから、大泉地区の谷戸城跡をはじめ、須玉地区の獅子吼城跡、若神子城跡、源太ヶ城跡、比志城跡などの城跡、小淵沢地区の棒道、番所・関所跡などの史跡、白州・武川地区の柳澤氏ゆかりの菩提寺や屋敷跡、餓鬼の喙（のど）などの史跡も多く分布しており、地域の景観を特徴づけています。

これらの遺跡や史跡については、保存と資源の顕在化を図るとともに、金生遺跡や谷戸城跡などのように小広場や案内板の整備、遺跡や史跡の公園化などを推進します。



・ 金生遺跡（大泉地区）



・ 谷戸城跡（大泉地区）

社寺の顕在化

須玉地区の海岸寺、根古屋神社、比志神社、長坂地区の清光寺、穂見諏訪十五所神社、小淵沢地区の大滝神社、白州地区の竹宇駒ヶ岳神社、横手駒ヶ岳神社、清泰寺、武川地区の萬休院、実相寺など、市内に数多くの社寺が分布しています。

社寺は建造物だけでなく、伽藍の配置、参道、社寺林や背景となる里山など、置かれている空間そのものに意味があり、それが地域景観を特徴づけています。

こうした地域の心の拠り所として親しまれている社寺の魅力を再認識し、周辺も含めた資源の保全と景観の維持・向上を図るとともに、ふるさとの散歩道などの観光ルートとしての活用を図ります。



・ 海岸寺（須玉地区）



・ 穂見諏訪十五所神社（長坂地区）



・ 大滝神社（小淵沢地区）

古道や歴史的まちなみの顕在化と魅力づくり

代表的な古道としては、旧街道である甲州街道（国道20号）、佐久往還（国道141号）や、信玄の軍事ルートとして使用された棒道があります。

また、旧甲州街道の白州地区台ヶ原や教来石、旧佐久往還の須玉地区若神子や高根地区長沢は宿場町として栄えた歴史があります。

棒道などの古道や歴史的なまちなみ地区については、道すじの保全やPR等による顕在化、サインや案内板の設置を図るとともに、沿道の建築物、工作物の築造、開発等に対する適切な規制や誘導などにより、周辺も含めた歴史的景観の保全や魅力づくりを図っていきます。

歴史的建造物の保存と活用

八代家住宅、旧津金学校校舎や水上写真館、北原家住宅や台原家住宅、平田家住宅（いろいろの家）などの代表的な歴史的建造物については、重要な景観資源として保存を図るとともに、観光やまちづくりへの活用を図ります。



・旧津金学校校舎（須玉地区） ・台ヶ原の歴史的まちなみ（白州地区） ・旧平田家住宅（小淵沢地区）

棚田等の文化的景観の保全

新田開拓時代から営々と造られ、維持されてきた段々畑や棚田の石積み、堰や水路などは、人々の営みの中で形づくられた重要な文化的景観として保全に努めます。



・美しい棚田（明野地区） ・往時の名残を留める堰（白州地区）

大木・古木の保存と活用

市内には、天然記念物に指定されている山高神代桜、神田の大イトザクラ、清春芸術村の桜、千本桜、大武川の社叢林など、地域で古くから親しまれている大木・古木が数多く分布しています。

これらの大木・古木は、地域の目印、シンボルとして景観を特徴づけており、積極的に保存を図るとともに、案内板や休憩スペースの設置など、市民に親しまれる景観・観光スポットとして活用を図ります。



・山高の神代桜（武川地区）

地域に埋もれている歴史文化資源を掘り起こす

その他、古い集落地周辺では、中山などののろし台のあった場所や古民家、蔵、土塀、塚、祠、道祖神など、あまり知られていない歴史資源も多く分布しています。

このような歴史文化資源については、地域の歴史を紐解き、埋もれている歴史文化資源を掘り起こすなどして、資源の顕在化とまちづくりへの活用を図ります。



・道祖神（小淵沢地区）

(5) 界わい景観の形成方針

基本方針 観光リゾート地域にふさわしいおもてなしの感じられる景観を創る

顔となるまちや観光地の魅力を高める

地域の生活の拠点となっているところや、観光地などのにぎわいの拠点となっているところについては、次のような取り組みを通じて本市の顔として景観の向上を図ります。

生活拠点の魅力づくり

商店街や公共施設が集積し、各地区の中心となっている小淵沢駅周辺、長坂駅～長坂IC 周辺、清里駅周辺、市役所周辺、白州地区、武川地区、明野地区、大泉地区の支所周辺については、必要に応じて道路等公共空間の景観整備、屋外広告物やまちなみの適正な誘導、緑化の推進、景観阻害要因の改善などを図り、地域生活拠点、まちの顔にふさわしい個性ある景観の形成を図ります。



・小淵沢駅前の商店街



・長坂商店街

観光ゾーンの魅力づくり

観光レクリエーション施設が集積し、多くの市民、観光客等が訪れる主要な観光レクリエーションゾーンについても、必要に応じて道路等公共空間の景観整備、屋外広告物やまちなみの適正な誘導、緑化の推進、景観阻害要因の改善などを図り、良好な景観の維持・向上を図ります。



・道の駅こぶちさわ



・明野のひまわり畑



・まきば公園



・台ヶ原宿

まちの玄関口や道路景観の魅力を高める

本市の玄関口となっている鉄道駅、中央自動車道 IC 周辺や市民や観光客等が多く利用する主要な道路等については、次のような取り組みを通じておもてなしの感じられる景観づくりを図ります。

まちの玄関口の魅力の向上

JR 中央本線や JR 小海線の田舎らしく風情のある駅舎は、可能な限り保存に努めるか、改築する場合でも、その風情を損なわないようデザインに配慮します。また、花壇や案内板の設置、駅前空間の修景など、玄関口にふさわしい魅力づくりを図ります。

また、中央自動車道 IC 周辺（須玉 IC、長坂 IC、小淵沢 IC）についても、IC へのアクセス道路等の特色ある緑化や景観整備など、玄関口にふさわしい魅力づくりを図ります。



・小淵沢駅（小淵沢地区）



・長坂駅（長坂地区）



・日野春駅（長坂地区）

景観の軸となっている道路景観の魅力の向上

道路は、地域間の連絡、まちなみの形成のほか、ダイナミックな景観を身近に眺めることができる場（空間）でもあります。特に、移動する車内などからは、次々と変化する風景（シークエンス）を楽しむことができます。

多くの市民や観光客等に利用され、主要な観光ルートとなっている道路をはじめ、まちや田園集落地域の骨格となっている道路については、「景観重要公共施設」*に位置づけるなどして、地域にふさわしい道路緑化や道路の景観整備、眺望やシークエンス（移動景観）への配慮、沿道における屋外広告物や標識、まちなみの適切な誘導等により、景観の維持向上に努めます。

< 景観上配慮すべき主要な道路 >

- 眺望に優れ、多くの市民や観光客等に利用されている代表的な観光道路
（主）北杜富士見線（八ヶ岳高原ライン）、県道小荒間長坂停車場線、国道 141 号、
（主）北杜八ヶ岳公園線・清里高原道路、茅ヶ岳広域農道、（主）韮崎増富線、クリスタルラインなど）
- 市街地や観光地など、主要なまちなみを形成している主要な道路
（国道 20 号、141 号、（主）長坂高根線など）
- 眺望に優れ、観光道路としての性格も有する主要な道路
（茅ヶ岳広域農道、県道清里須玉線（須玉地区津金）、八ヶ岳広域農道（レインボーライン）、（主）茅野北杜韮崎線（七里岩ライン）、甲斐駒ヶ岳広域農道、県道駒ヶ岳公園線・横手日野春停車場など）
- その他、地域のシンボルとなっている主要な道路等の景観軸
（市道名水公園線（べるが通り）、市道下念場朝日ヶ丘線（清里牧場通り）、市道泉ライン線など）



・清里高原道路（高根地区）



・国道 141 号（高根地区）

注) * 「景観重要公共施設」については、第 5 章の 2 景観重要公共施設の整備および良好な景観形成に関する事項参照ください。

良好な眺望場所など、景観資源を生かした新たな観光地づくりを進める

本市のダイナミックな自然景観、特徴ある農村風景そのものが大きな観光資源であり、この魅力を多くの人に楽しんでもらうため、景観資源を生かした観光地づくりを促進します。

良好な眺望場所(ビューポイント)を生かした観光地づくり

多くの人々に本市の風景がもつ魅力を味わってもらうため、あまり知られていない優れた眺望場所の掘り起こし、良好な眺望場所の整備や魅力の向上、周辺景観の保全と改善、眺望場所のPR、良好な眺望場所を結ぶルートづくりなどにより、魅力的な観光スポットづくりを図ります。

多様な景観資源を生かした観光地づくり

市内には、これまで述べたように、森や水辺などの自然景観、歴史・文化的景観、特色ある農村景観など、あまり知られていない潜在的な景観資源が数多く分布しています。

こうした資源を掘り起こし、多くの人々にその魅力を味わってもらうため、観光マップ等によるPR、サインや案内板、休憩広場の整備など、新たな観光スポットづくりを図ります。



・眺望場所を生かした観光地づくり（明野地区）

・眺望場所を生かした観光地づくり（長坂地区）

魅力的な観光ルートを創る

本市のもつ風景の魅力をより多くの人々に知ってもらい、味わってもらうため、観光地や多彩な景観スポットを結ぶ次のような景観のネットワークづくり（風景回廊づくり）の取り組みを図ります。

北杜 24 景の活用

本市では、「北杜市ガイドマップ」の中で、市内の3つのエリアと北杜 24 景を巡る観光コースを紹介していますが、こうした観光コースの周知・PRを行うとともに、観光的な側面からも積極的に活用を図っていきます。

観光ルートの充実と魅力づくり

前述した北杜 24 景を巡る観光コースをはじめ、本計画や市民の提案等をもとに、テーマ性のある観光コースの一層の充実を図るとともに、観光ルートにあたる道路等については、案内板、誘導サインの設置など、景観に配慮した魅力づくりを図ります。

(仮称)ふるさと散歩道づくり

地域住民の発意と創意工夫により、地域の観光資源や景観資源を結ぶ(仮称)ふるさと散歩道づくりを促進します。

地域単位の観光コースを創り、広げていくことによって、地域全体、北杜市全体のイメージアップを図っていきます。



・市民参加によるウォーキングマップの作成（ハケ岳南麓）

花と緑のまちづくりを進める

本市は、豊かな自然に恵まれています。市街地や集落地では緑が不足しているところもみられます。一方、古くからの集落地では、自宅の庭の道路沿いや入口まわりなどに花や緑を植えている家が多くみられ、沿道景観に彩りを添えています。

また、それぞれの地域において、地域住民やボランティア、小中学校の児童生徒などを中心に植樹や花植えなどの緑化活動も活発に行われています。

「花と緑の観光リゾート地域」としてのイメージアップを図るため、こうした花や緑に対する取り組みや市民活動の芽を伸ばし、市民、観光客等、事業者、行政等が力を合わせて、次のような緑化の取り組みを図ります。

まちかど花壇の設置

鉄道駅、IC 周辺、生活拠点や観光地の主要なまちかど等については、市民参加によるまちかど花壇の設置を促進します。



・まちかど花壇（高根地区）

主要な公共施設の緑化

主要な道路や河川、公園や学校などの公共施設についても、地域の特性に応じた特色ある緑化を推進します。



・市民参加による花植え活動（須玉地区）

景観緑地の育成

農村地域においては、休耕地や耕作放棄地などを活用してコスモス、菜の花、ソバ、シバザクラなど地域景観になじむ景観緑地の育成を図ります。



・コスモスの花畑



・菜の花の畑



・ソバ畑

庭先の緑化等

別荘地を含む住宅地や集落地、工業集積地、大規模店舗（駐車場等）などの民有地についても、庭先の花植え、生け垣の設置など、敷地内の花植えや緑化を促進します。



・入口部の花植え（明野地区）



・手入れされた生け垣と庭木（小淵沢地区）

(6) 暮らしの景観の形成方針

基本方針 地域に息づく暮らしの景観を守り、育てる

身近な景観を再認識し、景観づくりに生かす

地域の暮らしが育んできた大木・古木、鎮守の森、屋敷林や雑木林、小川のせせらぎ、神社仏閣、古民家、蔵や石積み、祠や道祖神などの身近な景観資源は、地域の景観を特徴づける重要な資源です。そのため、これらの身近な景観資源の保存に努めるとともに、地域の観光スポットとして積極的に活用を図ります。

地域の祭り、イベントを活性化させる

年間を通して市内各所で行われている祭りや伝統的行事、各種活性化イベント等は、地域の歴史・文化や暮らしぶりを後世に伝えるとともに、多くの市民や観光客等が訪れ、地域のにぎわいある景観を形成しています。

このため、伝統行事の保存と継承を図るとともに、地域イベントの新たな創造を含めて、活性化を促進します。



・長沢鯉のぼり祭り（高根地区）

身近な公共施設等の景観を向上させる

市役所や小中学校などの公共建築物、身近な道路や公園等は、多くの市民に利用され、日常的に市民が目にする施設であるとともに、まちや地域の目印となるものです。これらの身近な公共施設等については、次のような取り組みを通して積極的な景観向上を図ります。

公共建築物の景観向上

市役所、支所、小中学校や公民館、福祉施設などの身近な公共施設については、景観に配慮した施設整備や緑化など、身近な暮らしの拠点として景観の向上を図ります。

身近な道路や公園等の景観向上

多くの市民に利用されている身近な生活道路や河川、公園等については、景観に配慮した施設整備を図るとともに、市民参加等による清掃等の美化活動や緑化、草花の手入れ等により景観の向上を図ります。

地域の特性に応じた良好なまちなみ景観を形成する

本市全体の景観の向上を目指すため、一定のルールに基づき、地域の特性に応じたまちなみの誘導を図ります。

住宅地や集落地

緑豊かで比較的良好な景観を保っている集落地や別荘地・住宅地については、生け垣や屋敷林の保全など、景観の維持向上に努めます。

その他の集落地や別荘地・住宅地については、生け垣や前庭緑化などに努めます。

特に、森林や農地の宅地化が進行しているところについては、適切な開発コントロールや植樹・緑化等により、周辺景観と調和したまちなみの形成を図ります。

既存商店街

小淵沢駅周辺、長坂駅周辺、清里駅周辺等に形成されている既存商店街については、必要に応じて道路等公共空間の景観整備、屋外広告物や沿道景観の適正な誘導により、まちの顔にふさわしいまちなみ景観の向上を図ります。

大型店舗の集積地

大型店舗の立地が進んでいる長坂 IC 周辺については、一定のルールに基づく建築物や屋外広告物の意匠、形態の誘導により、地域景観と調和したまちなみ景観の形成を図ります。

工業集積地

須玉地区、長坂地区、小淵沢地区、白州地区などの工業集積地については、道路や敷地内緑化、景観に配慮した建築物や工作物を誘導し、地域景観と調和したまちなみ景観の形成を図ります。

(7) 景観のルールづくりの方針

基本方針 良好な景観形成を図るためのルールを創る

景観に対する意識やマナーを向上する

ごみの不法投棄や土石・廃材等の野積み、野立ての自販機、過剰な電飾、農地に放置されたビニールハウスやマルチ、高山植物の採取、キャンプ場等で放置されているごみやごみのポイ捨て、後始末をしない犬のフン、樹木や建造物への落書きなど、マナー不足により、良好な景観が損なわれているところが見られます。

このため、景観に対する市民や観光客等の関心や意識を高め、マナーの向上を図るとともに、自然公園区域や景観上重要な場所については、必要に応じてマナーに関するルールづくりを検討します。

自然や景観に配慮した公共施設の整備を図る

道路や河川構造物、堰堤などの治山施設、公共建築物等の公共施設は、景観を構成する大きな要素であり、公共施設景観は景観形成を先導する役割を担っています。

このため、次のような公共施設については、次のようなガイドラインを作成し、公共施設の景観の向上を図ります。

公共施設デザインガイドラインの作成

公共施設デザインの手引きとなる「(仮称)北杜市公共施設デザインガイドライン」を作成し、景観に配慮した公共施設の整備を図ります。

また、景観上重要な公共施設については、「景観重要公共施設」*に位置づけるなどして、地域の特性や景観に配慮した施設づくりを促進します。

公共サイン計画の作成

公共サイン(案内サイン、誘導サイン等)については、サインシステムを十分検討したうえで「(仮称)北杜市公共サイン計画」を作成し、統一感のあるサイン整備を図ります。

自然、生態系に配慮した公共施設整備

道路の擁壁や法面、河川の護岸等の施設整備にあたっては、多自然型工法や近自然工法など、将来的にもとの自然に回復できるような工法を採用するなど、自然や生態系、景観に配慮した施設整備を促進します。



・景観に配慮した防護柵（高根地区）



・広告類・標識のない道路景観（長坂地区）



・石空川の砂防堰堤（武川地区）



・石積みによる土留め（明野地区）

注) * 「景観重要公共施設」については、第5章の2 景観重要公共施設の整備および良好な景観形成に関する事項を参照下さい。

森を守り、景観に配慮した適切な開発や建築物等を誘導する

松くい虫等の被害や手入れ不足による森林の荒廃、宅地化の進行による森林の減少、ミニ開発など森林や農地の無秩序な開発の進行、未利用地へのごみの不法投棄や土石・廃材等の野積み、土石の採取、大型商業施設やロードサイド型の店舗の立地などにより、良好な景観が損なわれつつあります。

森を守り、田園集落地域の良好な景観の維持・向上を図るため、景観ゾーンの区分に応じて、次のような景観に配慮した適切な開発や建築物等の誘導を図ります。

開発行為等に関する適切な誘導

開発行為等の適正な誘導を図るため、本計画で行為に一定の制限を設けるとともに、「北杜市景観条例」の制定と、必要に応じて「北杜市土地開発事業等の適正化に関する条例」の見直しを検討します。

また、「山梨県宅地開発事業の基準に関する条例」（開発面積 3,000 m²以上、知事許可）、「自然公園法」、「都市緑地法」等の関連制度の活用を図ります。

建築物等の適切な誘導

優れた眺望や景観の土台となっている地形構造、里山、集落地、農地、樹林地等が一体となった農村風景など、大切にしたい景観を損なうことのないよう、建築物等については十分な配慮が必要です。

こうした特色ある景観と調和した良好なまちなみの形成を図るため、建築物等に関しては、本計画で定める「景観形成基準」や「建築物等に関する行為の制限」*に基づいて適切な誘導を図ります。

また、法に基づく「建築協定」や「緑地協定」等の制度の活用を図るとともに、住民間で任意に定める「まちづくり協定」や「景観協定」の普及に努めます。



・ 里山を背景に集落地と農地が一体となった農村風景（須玉地区）



・ 伝統的な集落景観と調和した建物



・ 地形に沿った道、石垣、庭木がつくるまちなみ景観

注) *詳細は、第4章「良好な景観形成のための行為の制限事項」を参照下さい。

屋外広告物の適切な誘導を図る

店舗や観光施設等の立地が進むなか、国道141号や国道20号をはじめ、主要な幹線道路沿道には、色や大きさがバラバラな屋外広告物や幟等が乱立しつつあり、良好な景観を妨げています。

このため、本計画では、「屋外広告物法」との整合に留意しながら、全市共通の指針づくりや景観形成推進ゾーンなどの特定地区に関する「屋外広告物の表示および掲出物件の設置に関する一定の行為の制限」*を定めるなどして、適切な誘導を図ります。



・景観への配慮が望まれる看板類（国道141号）



・景観への配慮が望まれる看板類（長坂IC付近）

その他の景観を妨げている要因を改善する

そのほか、景観を妨げている高圧送電線の鉄塔、携帯電話用アンテナ等については、設置の際に設置位置や構造物の形態、色彩などを事業者と協議し、周辺景観に配慮した整備に努めます。

また、近年増えている夜間の電飾についても、一定のルールに基づき抑制に努めます。

景観形成推進ゾーンなどの特定地区については、地域景観に配慮し、事業者との協議に基づき電線類の地中化、交通標識等を含めたサイン類の統合・共架などを検討します。



・田園景観を阻害する送電線と鉄塔



・自然景観の中で目立つ携帯電話アンテナ



・景観への配慮が望まれる野立ての自動販売機



・道路に近接した位置にむき出しとなっている貯水タンク

注) *詳細は、第5章の③屋外広告物の表示・設置等の制限に関する事項を参照下さい。

3 エリア別景観形成方針

景観エリアの区分と景観構造

ここでは、第2章の「**2**景観構造の設定」で示した景観の土台を形づくる景観エリアに基づき、第3章の前項「**2**景観形成方針」で示した内容を踏まえ、「景観研究会」の提言をもとに、景観エリア別の景観形成方針を示します。

< 景観エリアの区分 >

本市の景観は、本計画書 38 ページで示したとおり、主として地勢的な観点から大きく釜無川と須玉川に隔てられた3つの景観エリアに分けられます。また、3つの景観エリアはそれぞれに異なった特色をもっています。

そのため、計画における景観エリアについても、現況と同様に次に示す3つの景観エリアとします。

3つの景観エリア

茅ヶ岳・みずがき山麓エリア

須玉川の東側、瑞牆山・茅ヶ岳を中心とした山岳・森林地域と山麓の里山・田園集落地域で構成されるエリアで、概ね、須玉地区、明野地区がこのエリアに含まれます。

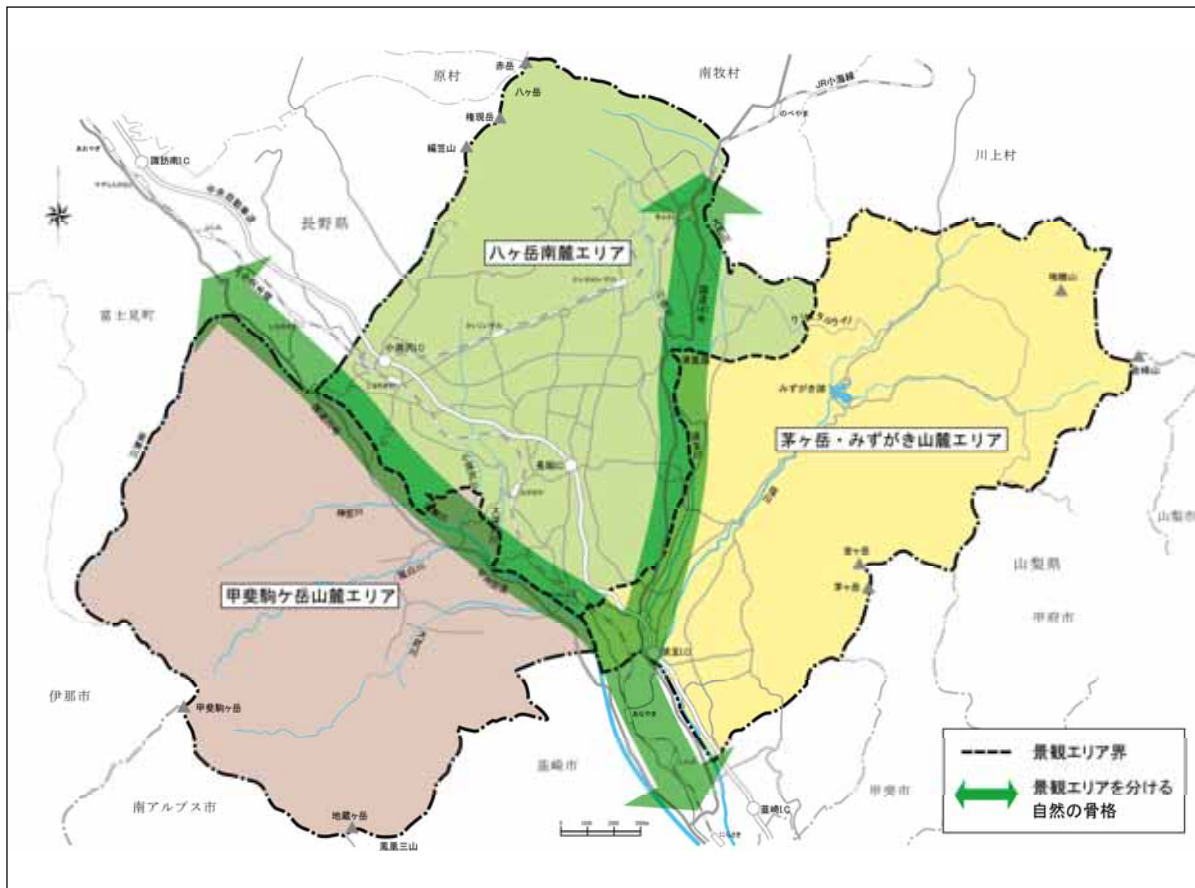
ハヶ岳南麓エリア

ハヶ岳南麓の森林地域と里山・田園集落地域で構成されるエリアで、概ね、高根地区、大泉地区、長坂地区、小淵沢地区がこのエリアに含まれます。

甲斐駒ヶ岳山麓エリア

釜無川の南西側、甲斐駒ヶ岳を中心とした山岳・森林地域と山麓の里山・田園集落地域で構成されるエリアで、概ね、白州地区、武川地区がこのエリアに含まれます。

景観エリア区分図



<エリア別にみた景観構造>

第2章で示した北杜市の景観構造を各エリアの地形構造や景観特性等から具体的にみると、さらにいくつかの景観ゾーンに区分することができます。

エリア別にみた景観ゾーン

茅ヶ岳・みずがき山麓エリア

市全体の景観構造で示した「山岳・森林景観ゾーン」と「田園集落景観ゾーン」に加えて、その中間的な性格を持つ「里山景観ゾーン」を設定しています。また、後述するエリアごとの「景観特性」に示すとおり、「田園集落景観ゾーン」についてはさらに細区分をしています。

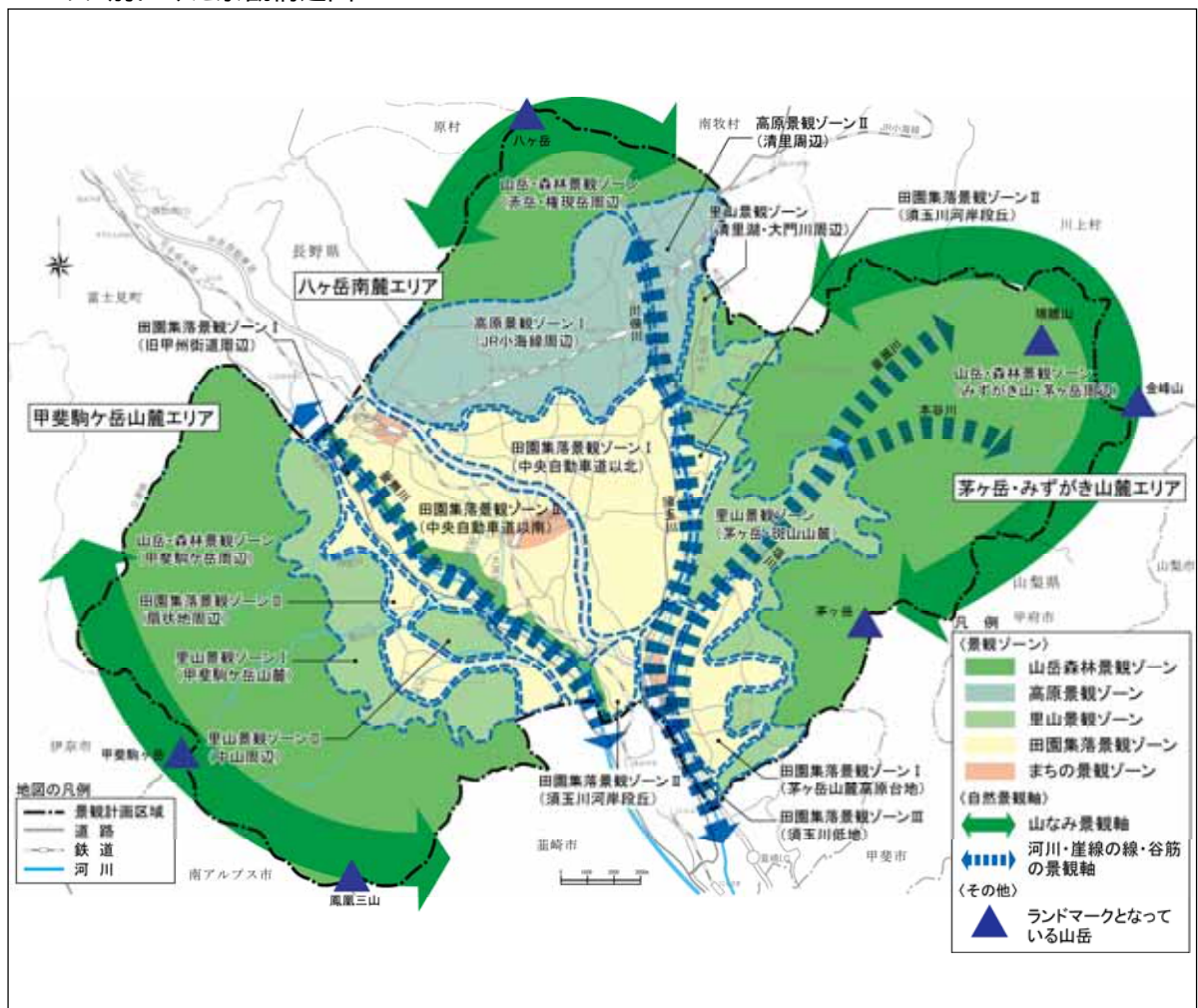
八ヶ岳南麓エリア

市全体の景観構造で示した「山岳・森林景観ゾーン」と「田園集落景観ゾーン」に加えて、その中間的な性格を持つ「里山景観ゾーン」と本エリアの特色でもある「高原景観ゾーン」を設定しています。また、後述するエリアごとの「景観特性」に示すとおり、「高原景観ゾーン」と「田園集落景観ゾーン」についてはさらに細区分をしています。

甲斐駒ヶ岳山麓エリア

市全体の景観構造で示した「山岳・森林景観ゾーン」と「田園集落景観ゾーン」に加えて、その中間的な性格を持つ「里山景観ゾーン」を設定しています。また、後述するエリアごとの「景観特性」に示すとおり、「里山景観ゾーン」と「田園集落景観ゾーン」についてはさらに細区分をしています。

エリア別にみた景観構造図



(1) 茅ヶ岳・みずがき山麓エリア

1) 景観の特性

本エリアは、須玉川の東側、瑞牆山・茅ヶ岳を中心とした山岳・森林地域と山麓の里山・田園集落地域で構成されるエリアで、景観の構造特性やエリア景観の特色は、次のとおりです。

構造的にみた景観の特性

本エリアは、瑞牆山や茅ヶ岳などの秩父山地、斑山から南に延びる丘陵地、須玉川と急峻な崖線（河岸段丘）、深山の奥行きを感じさせる塩川と本谷川等の谷筋の地形、茅ヶ岳南麓の高原台地など、変化と奥行きのある地形構造となっています。

本エリアの景観構造は、こうした地形構造が土台となって、次のような骨格的な自然景観軸と特色ある景観ゾーンにより形づくられています。

茅ヶ岳・みずがき山麓エリアの景観構造

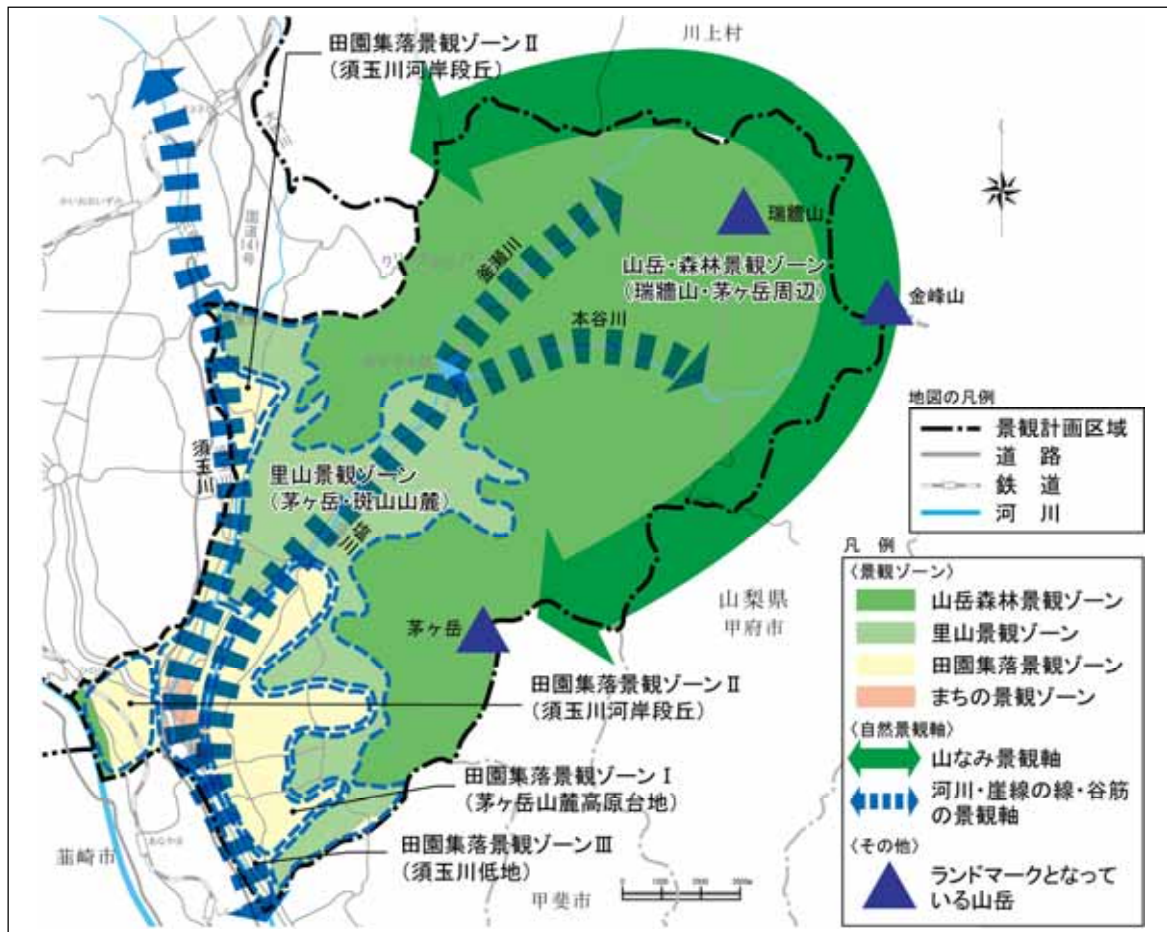
【自然景観軸】

- エリアを囲む瑞牆山・茅ヶ岳等の山なみ景観軸
- 須玉川の水辺、切り立った崖線と緑の景観軸
- 塩川と本谷川、釜瀬川の深山への奥行きを感じさせる谷筋の景観軸

【景観ゾーン】

- 山岳・森林景観ゾーン（瑞牆山・茅ヶ岳周辺の山岳・森林を中心とした自然景観）
- 里山景観ゾーン（茅ヶ岳山麓、斑山山麓の里山と塩川沿いの山間集落地の景観）
- 田園集落景観ゾーンⅠ（茅ヶ岳山麓の高原台地に広がる田園集落地の景観）
- 田園集落景観ゾーンⅡ（須玉川河岸段丘上に形成された田園集落地の景観）
- 田園集落景観ゾーンⅢ（須玉川低地に形成された田園集落地の景観）
- まちの景観ゾーン（若神子周辺の市街地の景観）

茅ヶ岳・みずがき山麓エリアの景観構造図



景観の特色

本エリアの景観を特徴づけている主な景観類型（パターン）としては、次のようなものが挙げられます。

優れた眺望（茅ヶ岳高原台地からの一大ロケーション）

河岸段丘、高原台地などからの眺望に優れており、特に、茅ヶ岳広域農道が通る高原台地からは、眺望が開け、茅ヶ岳をはじめ、南アルプス、八ヶ岳、富士山を一望するなど、本市の誇る一大ロケーションが展開しています。

瑞牆山・茅ヶ岳と特徴的な自然景観

瑞牆山周辺は、秩父多摩甲斐国立公園区域に指定され、地域のランドマークとなっている瑞牆山、茅ヶ岳、金峰山は、多くの登山者に親しまれています。

この他、みずがき湖、本谷川溪谷、通仙峡周辺は、美しい紅葉で知られる景勝地となっており、「金峰山・瑞牆山源流」は平成の名水百選にも選定されています。また、山梨県自然環境保全条例による「景観保存地区」に指定されている紅葉橋周辺、「自然記念物」に指定されている木賊平のエゾリンドウ、金山沢のハシドイ林、その他、瑞牆山のアズマシャクナゲの群生地などの特徴的な自然景観もみられます。

地形に即した人々の営みにより形づくられた多彩な農村景観

本エリアは、大部分が山地であるため、山あい、河岸段丘、河川低地、高原台地の限られたところに農業集落地が発達し、人々の永い営みの中で、地形に即した多彩で特色ある農村景観が形成されています。

特に、浅尾や津金などの趣のある農村景観、須玉川の河岸段丘にみられる棚田、高原台地に広がる農の風景などは、地域景観の大きな特徴となっています。

地域の歴史を物語る多様な歴史・文化的資源

エリア内には、獅子吼城跡、若神子城跡などの史跡、海岸寺、根古屋神社、比志神社などの社寺、八代家住宅や津金の三代校舎などの歴史的建造物、旧佐久往還の古道、烽火台などの地域の歴史を物語る歴史・文化的資源が多く分布し、地域住民の心の拠り所となっています。

このほか、古くから形成された集落地では、古木、社寺、古民家、蔵、水路、祠や塚などの身近な歴史資源も多く見られます。

観光ゾーンのにぎわいある景観

茅ヶ岳広域農道の県立フラワーセンター周辺、若神子城跡周辺、みずがき湖周辺、再生・活性化の取り組みが行われている増富ラジウム温泉峡や津金の三代校舎周辺等は、本エリアの主要な観光ゾーンとなっており、各種の観光レクリエーション施設が立地し、シーズン中はにぎわいをみせています。

地域の生活拠点、宿場町としての歴史をもつまちの景観

須玉地区の生活の中心となっている若神子～大豆生田周辺の市街地は、江戸時代に旧佐久往還若神子宿として栄えた歴史もあり、旧街道筋を中心に一部に蔵や歴史的な建造物など、風情あるまちなみが残されています。

また、中央自動車道須玉 IC は、観光地清里方面の玄関口となっています。

地域の暮らしがりを伝える祭や行事の景観

浅尾ダイコンまつり、須玉甲斐源氏祭りをはじめ、年間を通して地域の祭や行事、イベントが数多く実施されており、地域の個性あるにぎわい景観を特徴づけています。

2) 景観形成の目標

景観特性や景観研究会の提言等を踏まえ、本エリアの景観形成の目標と重点テーマを次のように設定します。

< 景観形成の目標 >

「元氣な風景づくり」

どんなに美しい風景をつくっても地域の人々がそこに暮らし続けることができなくては意味がありません。

景観づくりは、表面的な美醜の問題ではなく、住民が地域の美しい景観を誇りに思いながら、幸せに暮らし続けられる良質で心地よい生活の風景を創っていくことが最も重要です。

そして、このような景観は、来訪者にとっても心が癒され、快適に感じる景観であり、地域の活力を生み出す立派な観光資源となるものです。

地域の人々が元気に景観づくりを行い、景観づくりの成果が地域を活性化させ、地域に活力と文化と幸せをもたらすような「元氣な風景づくり」を目指します。

< 景観形成の重点テーマ >

美しい・山地・山岳景観を守り・育てる

美しい山の景観は、昔も今も、そしてこれからも変わらぬ市民の最大の共有資産であり、このかけがえのない風景資産を守り・育て、次代に継承していきます。

里山・森・林と谷筋の景観を守り・育てる

集落と農地とこれらを取り巻く里山は、地形に即した人々の永い営みの中で必然的に形づくられたものであり、この法則を決して崩さない景観づくりを目指します。

歴史・文化的景観を大切にしたい景観を創る

地域らしさを表象し、住民の心の拠り所となっている地域の歴史・文化的景観を大切にしたい景観づくりを目指します。

農村集落の美しさを再認識し、景観づくりを通して地域活性化を図る

暮らしの風景として地域の活性化につながる「生きた景観づくり」を目指します。

おもてなしと活気を感じるまちの景観を創る

地域の生活の中心、玄関口にふさわしいおもてなしと活気を感じるまちなみ景観づくりを目指します。

風景を見る場所としての道路景観の魅力を生かす

道路は地域を見る・見せる最大の舞台（視点場）であり、地域の景観の魅力を生かし、景観に配慮した道づくりを目指します。

景観の質的向上を図る

マナーの向上や一定のルールにもとづいて、景観を阻害する要因の改善や景観の質的向上を目指します。

3) 重点テーマの景観形成方針

市全体の景観形成方針や景観研究会の提言等を踏まえ、重点テーマの景観形成方針を次のように設定します。

美しい山地・山岳景観を守り・育てる

山地を美しく残す

エリア全体に広がるアカマツ林をはじめ、瑞牆山周辺のシラカバ林、カラマツ林、紅葉橋や本谷川溪谷周辺など、自然公園区域に指定されている新緑や紅葉の美しい山地については適正な森林の整備や管理、市民参加による森づくり活動等により景観の維持・保全を図ります。

貴重な動植物と生息環境を守る

瑞牆山のアズマシクナゲの群生地や木賊峠付近のエゾリンドウや、金山沢のハシドイ林、須玉のヒカリゴケなどの貴重な植物の自生地や動物の生息地については、生息環境の維持等により厳正な保護・保全に努めるとともに、自然観察の場としての活用を図ります。

優れた眺望景観を大切に守り、活用する

一大ロケーションが展開する茅ヶ岳広域農道周辺については、眺望の保全と眺望に配慮した施設整備を図ります。また、数多く分布する優れた眺望場所についても掘り起こしや選定を行い、眺望景観の保全や眺望広場等の整備を図ります。

山との関わりを再生する

森林地域については、市民参加による元気な森づくり活動、信仰の道(増富～金峰山)、金山の歴史を生かした遊歩道の整備、森林の多面的な機能を活用した森林療法や環境学習の促進、木質バイオマスエネルギー等の活用など、山との関わりを再生し、森林地域の活性化を図ります。



・紅葉の瑞牆山



・茅ヶ岳広域農道からの眺望

里山・森・林と谷筋の景観を守り・育てる

塩川などの谷筋の景観を守る

塩川沿いの集落と溪流と山の緑が織りなす奥行感のある谷筋の景観は、地域景観の大きな特徴となっており、平成の名水百選に選定された金峰山・瑞牆山源流などの美しい溪流を含め、谷筋全体の景観の維持・向上に努めます。

里山や森の保全・再生を図る

塩川周辺、茅ヶ岳山麓、斑山周辺の集落地近傍の里山については、無秩序な森林伐採の防止を図るとともに、「北杜市森林整備計画」や「北杜市里山整備事業」等に基づき、適正な森林の整備、保全と管理、市民参加による植林活動等により、里山の機能や景観の維持・向上に努めます。

里山と農地、集落が一体となった景観の構造を守る

里山、農地、集落は、一体となって特色ある景観を形成しており、この空間構造に留意したそれぞれの景観形成に努めます。



・紅葉橋から見た塩川



・浅尾の農村集落景観

歴史・文化的景観を大切に景観を創る

古い建造物や蔵などを景観に生かす

古い集落地などにみられる古民家、土塀、蔵などの歴史的建造物については、資源の顕在化を図るなど、景観づくりへの活用を図ります。

また、廃校等についてもフィルムコミッションなどロケ地としての活用、交流・活性化のための施設として有効利用を図るなどの取り組みを検討します。

社寺等の価値を見直し、活用する

正覚寺、味噌舐地蔵、海岸寺をはじめ、各集落にある小さな社寺や祠、塚などは、住民の心の拠り所、地域の目印となっており、その価値を再認識し、周辺も含めて、眺望場所、散策ルートなど景観の向上とまちづくりへの活用を図ります。

地域の歴史性を景観づくりに生かす

若神子城跡ののろし台など、のろし台があったとされる場所を眺望場所として活用するなど、地域の潜在的な歴史性を顕在化し、景観づくりへの活用を図ります。

場所の価値を損なう整備や土地の改変を避ける

開発、改変を行う際には、地域の歴史性、歴史文化資源の存在を考慮し、その場所の価値を損なわないよう配慮します。



・ロケ地にもなった旧江草小学校



・集落内の小さな神社

農村集落の美しさを再認識し、景観づくりを通して地域活性化を図る

暮らし続けられる集落環境づくり

高齢化や過疎化に伴い生活の維持が困難となっている集落については、空き家バンクの活用や田舎暮らしの斡旋、炭焼き、ソバ打ち、草刈り、収穫などの農家体験を行うイベント・交流の促進を図ります。

農地の保全と活用を図る

優良農地の保全を図るとともに、耕作放棄地の有効利用（観光農園、市民農園、景観緑地等）、深刻化する鳥獣害対策の推進、棚田や段々畑の景観的な活用、地産地消の推進、津金のリンゴ畑や浅尾のダイコン畑といった、地元特産品の農地景観の保全など、農の風景の保全と地域活性化への積極的な活用を努めます。

また、須玉川河岸段丘につくられた棚田は、特徴的な文化的景観を形成しており、景観の維持・保全と活用を努めます。



・浅尾のダイコン畑

農村景観の維持向上を図る

地形に即して形成された多彩な農村景観は、本エリアの大きな特色となっており、この持ち味を損なわないよう周辺と調和した家並みの形成、樹林地や屋敷林、古木や生け垣、水路などの景観資源の保全、空き家の有効利用、景観に配慮した公共施設の整備や工場などの景観誘導などを図ります。

特に、浅尾や津金、山間集落などの特色ある農村景観や、朝徳堰、源太堰などの歴史を物語る用水路の風景については積極的な保全に努めます。



・津金の農村集落景観

おもてなしと活気を感じるまちの景観を創る

地域の中心となるまちの景観の魅力を高める

<若神子・大豆生田周辺>

市役所や支所などの公共施設等が立地する市街地ゾーンについては、宿場町の歴史性や歴史的な建造物等の潜在的資源を活用し、須玉地区の生活の中心にふさわしいまちなみ景観づくりとまちの活性化を図ります。

<明野支所周辺>

公共施設が集積する明野支所周辺は、優れた眺望を生かしたまちの景観拠点として、景観の向上を図ります。

主要な観光ゾーンの魅力を高める

県立フラワーセンター周辺、若神子城跡周辺、再生・活性化の取り組みが行われている増富ラジウム温泉峡や津金の三代校舎周辺などは、主要な観光ゾーン（地域活性化拠点）として景観の魅力の向上を図ります。



・増富ラジウム温泉峡

須玉 IC 周辺、国道 141 号沿道の景観を向上する

須玉 IC 出入口周辺と店舗立地が進む国道 141 号沿道については、適切な道路の修景・緑化、まちなみ景観の誘導等により、観光および地域の玄関口にふさわしい景観の向上を図ります。

風景を見る場所としての道路景観の魅力を創る

風景を眺める場としての道路景観を創る

茅ヶ岳広域農道、増富ラジウムライン、県道清里須玉線（津金周辺）など、主要な景観の軸となっている道路については、地域にふさわしい道路景観整備や緑化、眺望景観への配慮、沿道の屋外広告物の適切な誘導一部電線類の地中化の検討等により、景観の向上を図ります。

歩いて楽しい道を創る

古道等の歴史的な道筋については、裏佐久往還、小尾街道などの愛称づけや地域の景観資源を結ぶ「(仮称)ふるさとの散歩道づくり（ルートや駐車場、サイン等の整備）、各種ウォークイベントの開催などにより、道のブランド化を図ります。



・景観の向上が望まれる道路
(茅ヶ岳広域農道)

生活道路の魅力を高める

集落地内の古くから住民に親しまれている道路についても、道の愛称づけや散歩コースの設定などにより、道路の魅力を高めます。

景観の質的向上を図る

ゴミや廃棄物への対策

重機や車など、ごみの不法投棄の防止、民間処分場の景観対策などの対策を図ります。

屋外広告物への対策

景観の拠点となる場所や景観の軸となる主要な道路沿道などについては、屋外広告物等（広告物、幟旗、立て看板、電飾などの光害など）の適切な誘導を図ります。

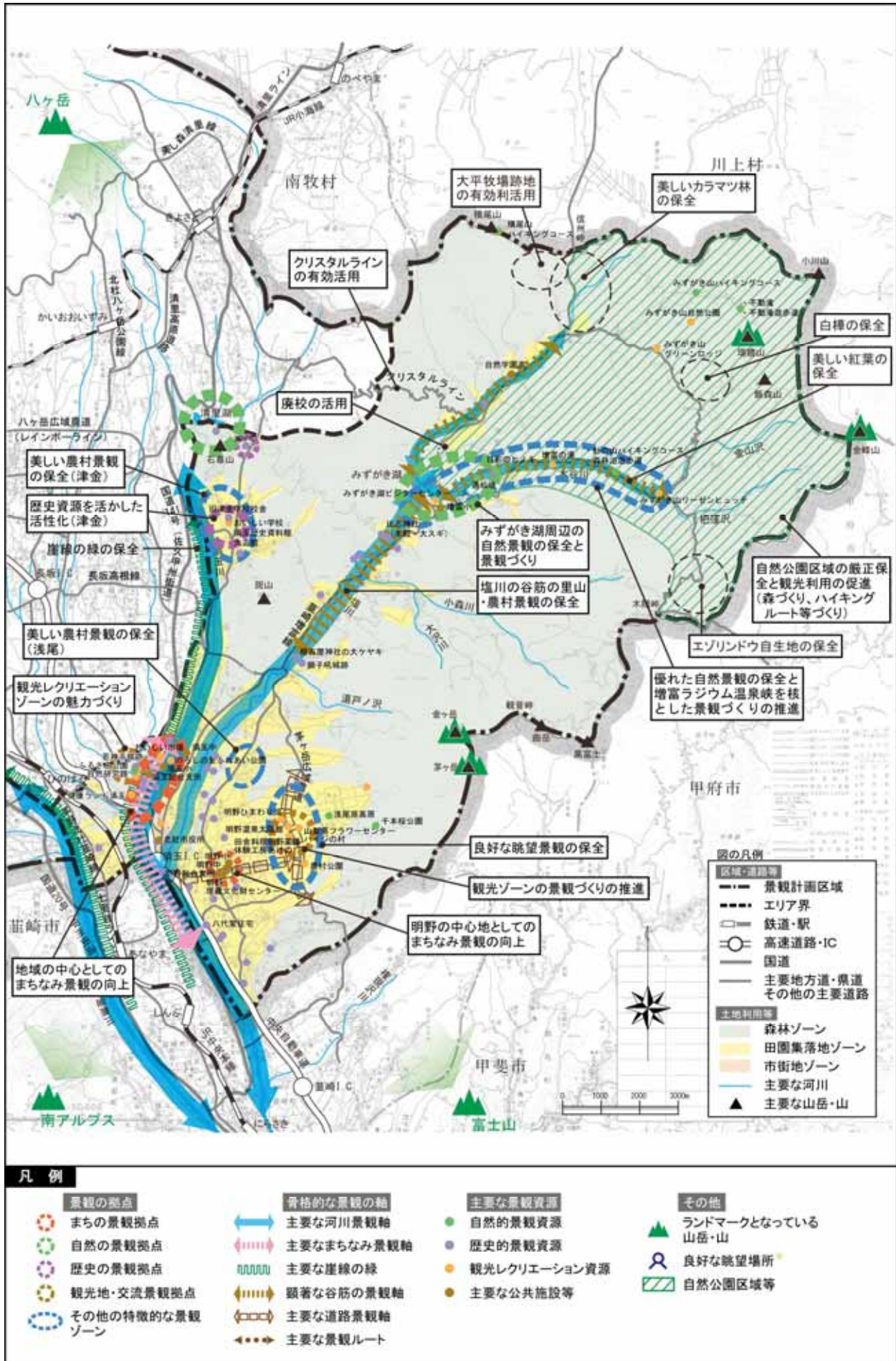
電線類の地中化の検討

茅ヶ岳広域農道沿道など、景観上重要な場所については、電線類の地中化を検討します。

適切な土地利用コントロール

地域景観の維持・保全を図るため、一定のルールに基づく計画的な土地利用の誘導を図ります。

茅ヶ岳・みずがき山麓エリア景観形成方針図



注) *良好な眺望場所は、エリア内に数多く分布していますが、ここでは景観研究会から提案のあったものを取りあげています。

(2)八ヶ岳南麓エリア

1)景観の特性

本エリアは、八ヶ岳の森林地域と南麓の里山・田園集落地域で構成されるエリアで、景観の構造特性やエリア景観の特色は、次のとおりです。

構造的にみた景観の特性

本エリアは、赤岳、権現岳、編笠山を中心とした急峻な山岳地形、山麓に広がる比較的緩やかな南面傾斜の高原台地、八ヶ岳の末端となる釜無川や須玉川の崖線（河岸段丘）のほか、高原台地では、標高 900m前後の湧水源地を起点に沢や小河川がヒダ状に幾筋も南北に流れ、東西方向に谷戸や微高地が繰り返し現れる変化のある地形構造となっています。

本エリアの景観構造は、こうした地形構造が土台となって、次のような骨格的な自然景観軸と特色ある景観ゾーンにより形づくられています。

八ヶ岳南麓エリアの景観構造

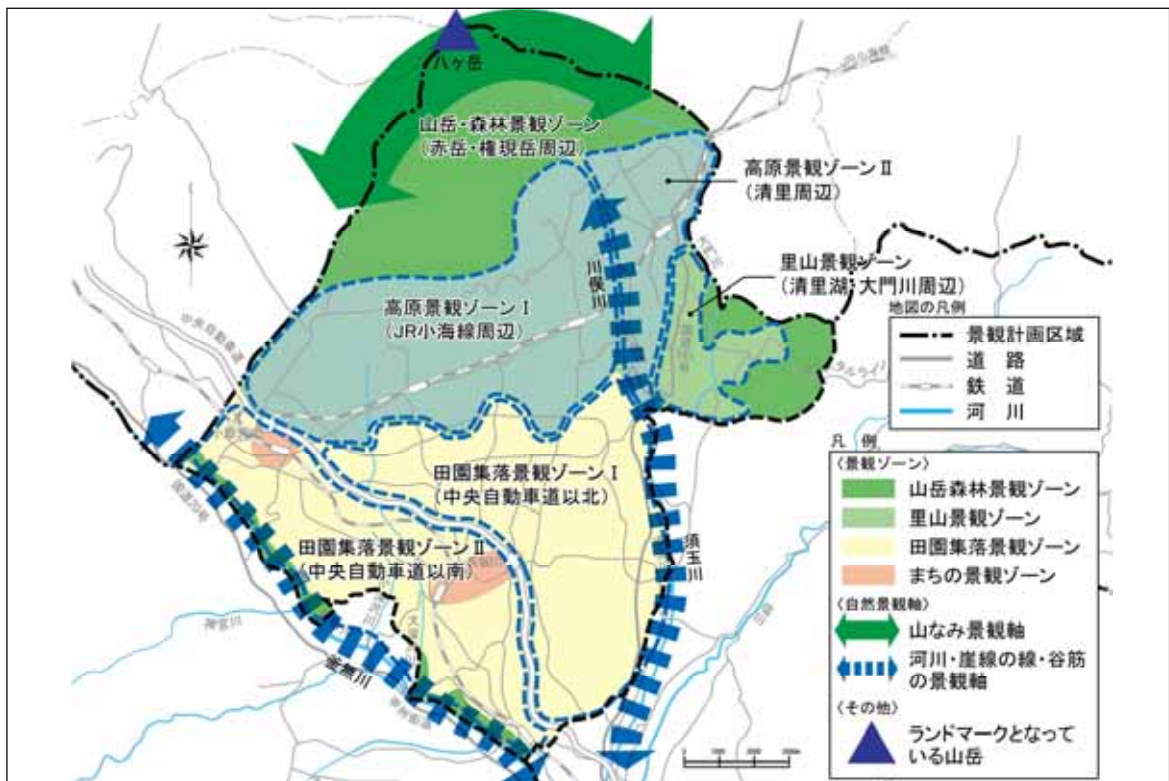
【自然景観軸】

- 赤岳、権現岳、編笠山等の山なみ景観軸
- 釜無川の水辺、崖線と緑の景観軸
- 須玉川の水辺、崖線と緑の景観軸と川俣川の谷筋の景観軸

【景観ゾーン】

- 山岳・森林景観ゾーン（赤岳・権現岳を中心とした山岳・森林景観）
- 高原景観ゾーンⅠ（JR小海線周辺の高原リゾート地の景観）
- 高原景観ゾーンⅡ（清里周辺の高原リゾート地の景観）
- 里山景観ゾーン（清里湖、大門川周辺の里山と山間集落地の景観）
- 田園集落景観ゾーンⅠ（中央自動車道以北の筋状の樹林帯、屋敷林の多い田園集落地の景観）
- 田園集落景観ゾーンⅡ（中央自動車道以南の起伏に富み、里山に囲まれた田園集落地の景観）
- まちの景観ゾーン（小淵沢駅周辺、長坂駅・長坂 IC 周辺、清里駅周辺の市街地の景観）

八ヶ岳南麓エリアの景観構造図



景観の特色

本エリアの景観を特徴づけている主な景観類型（パターン）としては、次のようなものが挙げられます。

優れた眺望

全体的に眺望に恵まれ、まきば公園、清里清泉寮周辺、美し森、三峰の丘をはじめ、八ヶ岳、茅ヶ岳から瑞牆山・金峰山等の秩父山地、南アルプス、遠く富士山や甲府盆地、北アルプス等を眺める良好な眺望場所が数多く分布しています。

特に、長坂地区の富士見坂・三分一湧水周辺は、これらを一望するパノラマ景観が展開しており、周辺の田園景観と一体的となって、本市らしい特徴的な景観を形成しています。

八ヶ岳と特徴的な自然景観

八ヶ岳周辺は、八ヶ岳中信高原国定公園区域に指定され、地域のランドマークとなっている赤岳、権現岳、編笠山は、多くの登山者に親しまれています。

特徴的な自然景観としては、美しいアカマツ林を主体とした広大な森、山梨県自然環境保全条例による「景観保存地区」や「自然記念物」に指定されている川俣川溪谷、国蝶オオムラサキの生息地であり、昆虫の宝庫となっている七里岩一帯の森林、日本名水百選に選定されている三分一湧水、大滝湧水、女取湧水などの湧水群と水路、数多くの農業ため池、清里湖、吐竜の滝、釜無川の崖線（七里岩）や須玉川の崖線などが挙げられます。

永い歴史と人々の営みに育まれた多彩な農村景観

古代の放牧、江戸時代の新田開発など、永い歴史と人々の営みにより農業集落が発達し、高原台地一帯は、多彩な農村景観が形成されています。

農地は、採草放牧地、水田、果樹園、野菜畑などを中心に広く分布し、緩やかな傾斜地形であるため、棚田や段々畑が多くみられ、微地形の変化と里山や樹林地と一体的に地域景観を特徴づけています。

また、集落地では、下笹尾、長坂上条、井出、長沢、箕輪など、古くから形成された趣のある集落地も多く分布しています。

古代からの歴史を物語る多様な歴史・文化的資源

エリア内には、金生遺跡、谷戸城跡、棒道などの遺跡や史跡、清光寺などの社寺、平田家住宅などの歴史的建造物といった地域の歴史を物語る歴史・文化的資源が多く分布し、地域住民の心の拠り所となっています。

特に、谷戸城跡周辺は、山梨県自然環境保全条例に基づく「景観保存地区」に指定され、金生遺跡（公園）とともに本市の代表的な歴史文化ゾーンを形成しています。

このほか、古くから形成された集落地では、古木、社寺、古民家、蔵、水路、祠や塚などの身近な歴史資源も多くみられます。

高原リゾート地のにぎわいある景観

（主）北杜富士見線（八ヶ岳高原ライン）、JR小海線、八ヶ岳広域農道（レインボーライン）の周辺一帯は、八ヶ岳高原リゾート地域を形成し、数多くの観光レクリエーション施設や林間別荘地が分布しています。

特に、小淵沢駅周辺、甲斐小泉駅周辺、甲斐大泉駅周辺、清里駅周辺、道の駅南きよさと周辺は、本エリアの主要な観光ゾーンとして、シーズン中にはにぎわいをみせています。

地域の玄関口、生活の拠点となるまちの景観

長坂駅周辺～長坂 IC 周辺、小淵沢駅周辺、清里駅周辺は、八ヶ岳南麓観光エリアの鉄道玄関口および地域の生活の中心となっています。

商店街、支所等の公共施設が集積し、本市の中心的な市街地を形成し、大規模な店舗、病院等が立地する長坂 IC 周辺は、（主）長坂高根線沿いを中心に、高根支所周辺まで、連担したまちなみが形成されています。

また、小淵沢駅周辺と清里駅周辺は、駅前商店街が形成され、公共施設や観光施設も集積し、それぞれ特色あるまちなみを形成しています。

高原鉄道の特徴ある景観

エリア内には JR 中央本線、JR 小海線が走っており、特に、JR 小海線は、古くから美しい眺望を誇る高原鉄道として観光客等に親しまれ、八ヶ岳を背景とした列車の風景、車窓から眺めるパノラマ風景など、本エリアの大きな特徴となっています。

数多く分布する林間住宅地の景観

本エリアの高原地域や森林地域には、別荘地をはじめ、数多くの林間住宅が分布しており、森と一体となった観光リゾート地の特色ある景観を形成しています。

地域の暮らしぶりを伝える祭や行事の景観

長沢鯉のぼり祭り、箕輪新町かかし祭り、ポール・ラッシュ祭、八ヶ岳ホースショーをはじめ、年間を通して地域の祭や行事、イベントが数多く実施されており、地域の景観を特徴づけています。



・高原の農地と八ヶ岳連峰

2) 景観形成の目標

景観特性や景観研究会の提言等を踏まえ、本エリアの景観形成の目標と重点テーマを次のように設定します。

< 景観形成の目標 >

1. 愛着と誇りのもてる風景づくり

八ヶ岳南麓の美しい山岳・自然景観と歴史・風土（文化）に育まれた特徴ある景観を守り、みんなが愛着と誇りのもてる風景づくりを目指します。

2. 活力をつくる風景づくり

美しい風景は、それだけで人を呼び寄せ、まちを活性化させる源泉（観光資源）です。地域の景観の魅力を再認識し、その魅力を最大限に活かした活力ある風景づくりを目指します。

3. みんなが楽しめる心地よい風景づくり

この素晴らしい風景資産を大切に、住む人も訪れる人も、みんなが楽しめる心地よい風景づくりを目指します。

< 景観形成の重点テーマ >

美しい山岳や森と水辺の景観を守り・育てる

八ヶ岳の美しい山岳景観、四季折々の美しい変化をみせる豊かな森や水辺などは、様々な恵みを与えてくれる大切な自然です。

本市の誇るこの美しい自然資産を大切に守り、育てるとともに、積極的なまちづくりへの活用を目指します。

優れた眺望景観を守り・生かす

山麓に展開する一大ロケーションは、本市の誇る最大の風景資産であり、優れた眺望場所も数多く分布しています。

こうした優れた眺望場所の景観を守るとともに、眺望場所の整備や魅力を高め、積極的なまちづくりへの活用を目指します。

特色ある農村景観、歴史・文化的景観の保全と魅力を高める

山麓に分布する多彩な集落地や農地の景観、歴史・文化的景観は、本市の代表的な郷土景観となっています。

先人達の永い営みにより形づくられてきた郷土景観の魅力を再認識し、景観の維持・保全と魅力ある景観づくりを目指します。

おもてなしを感じる景観づくりと地域の活性化を図る

観光客等、多くの人々がここに訪れ、また来てみたくなるようなおもてなしを感じる景観づくりと、それによる地域の活力の向上を目指します。

美しい景観を守り、育てていくためのルールをつくる

マナーの向上や一定のルールにもとづいて、景観を阻害する要因の改善や景観の質的向上を目指します。

3) 重点テーマの景観形成方針

市全体の景観形成方針や景観研究会の提言等を踏まえ、重点テーマの景観形成方針を次のように設定します。

美しい山岳や森と水辺の景観を守り・育てる

美しい山岳と森の景観を守る

自然公園区域を中心としたシラビソ等の針葉樹やダケカンバ等の落葉広葉樹など、高山帯特有の森林帯の厳正な保全を図るとともに、山麓や谷筋に広がるアカマツを主体とした森林についても、森林整備計画に基づく森林の整備と管理、生物の多様性に配慮した森の管理、適切な開発誘導、市民参加による自生樹木を中心とした植林活動などにより、美しい森の景観の維持向上を図ります。



・八ヶ岳高原大橋からみる八ヶ岳

水辺の景観を守り生かす

日本名水百選に選定されている三分一湧水をはじめとした湧水群と清流、川俣川溪谷や清里湖、数多く分布する農業ため池などについては、良好な水辺景観の保全を図るとともに、重要な景観の場所として景観に配慮した整備や魅力づくりを図ります。



・長坂牛池と桜

また、みどり湖、井富湖、とび沢の池、越中久保ため池等、数多く分布する農業用ため池や用水路は、地域景観を特徴づけ、生物の多様性を支えるビオトープ空間でもあることから、景観の保全と有効な活用を検討します。

貴重な動植物の保護、生息環境を保全する

高山植物のお花畑や国の特別天然記念物となっているニホンカモシカ、国蝶オオムラサキなどの貴重な動植物の保護、昆虫の宝庫となっている七里岩一带の森林をはじめとした動植物の生息環境の保全に努めるとともに、ハイキングルートの整備など、自然観察の場としての活用を図ります。

優れた眺望景観を守り・生かす

優れた眺望場所(ビューポイント)を選定する

長坂地区の富士見坂・三分一湧水周辺をはじめ、大泉地区のまきば公園、清里清泉寮周辺、美し森、三峰の丘、日野春駅周辺など、本エリアに数多く分布する優れた眺望場所を市民から募集し、ビューポイントとして選定するなど、眺望場所の掘り起こしに努めます。



・まきば公園からの眺望

眺望景観の保全と眺望場所を整備・活用する

優れた眺望場所については、小広場の整備や案内板等の設置等の整備を図るとともに、周辺の建築物等の一定のルールに基づく建築物や広告・看板・標識などの誘導、景観に配慮した道路等の公共施設整備など、眺望景観の保全を図ります。

また、良好な眺望場所を結ぶルートづくりや景観マップの作成を図ります。

高原鉄道の眺望を守る

JR 小海線の長曲周辺など、沿線の良好な眺望ゾーンについては、景観の維持・保全に努めます。

特色ある農村景観、歴史・文化的景観の保全と魅力を高める

多彩な農村景観を守り、魅力を高める

身近な里山を守る

レインボーライン周辺のアカツ林をはじめ、高原地域や中央自動車道以南に広く分布する里山については、無秩序な森林伐採の防止を図るとともに、「北杜市森林整備計画」や「北杜市里山整備事業」等に基づき、適正な森林の整備、保全と管理、市民参加による植林活動等により、里山の機能や景観の維持・向上に努めます。

多彩な農の風景を守り、生かす

採草放牧地、水田、果樹園、野菜畑など、地域景観を特徴づけている多彩な優良農地の保全を図るとともに、景観を阻害するごみの不法投棄やマルチの放置などの景観阻害要因の改善、耕作放棄地の有効利用（観光農園、市民農園、景観緑地等）、深刻化する鳥獣害対策の推進、棚田や段々畑の景観的な活用、地産地消の推進など、農の風景の保全と地域農業の活性化を図ります。

また、谷戸にみられる棚田や段々畑、新田開発時代をしのばせる堰や水路などは、特徴的な文化的景観を形成しており、景観の維持・保全と活用に努めます。

特徴的な集落地の景観を維持する

多彩な農村景観の持ち味を損なわないよう、周辺と調和した家並みの形成、樹林地や屋敷林、古木や生け垣、堰や水路などの景観資源の保全、空き家の有効利用、景観に配慮した公共施設の整備などに努めます。

特に、古くから形成され、特色ある集落景観を形成している小淵沢地区の下笹尾や高野、長坂地区の長坂上条や日野春、大泉地区の谷戸、高根地区の長沢、箕輪、東原などの集落地については、景観の維持・保全に努めます。

特徴的な歴史・文化的景観を守り、生かす

遺跡や史跡等を景観づくりに生かす

公園として整備されている金生遺跡、谷戸城跡のほか、エリアに分布する棒道などの遺跡や史跡、由緒ある社寺、伝統的建造物などの文化財については、保存と併せて、周辺も含めた景観づくりへの活用を図ります。

特に、金生遺跡や谷戸城跡周辺については、代表的な歴史景観拠点として周辺も含めた良好な景観形成を図ります。

潜在的な歴史文化資源の価値を見直し、景観づくりに活用する

集落地内に分布する古木、社寺、古民家、蔵、水路、祠や塚などの身近な歴史資源の価値を再認識し、景観づくりへの活用を図ります。

また、棚田や新田開発時代の名残をみせる堰や水路は地域の誇る文化的景観として、景観の維持・保全とまちづくりへの活用を図ります。

歴史資源等を結ぶルートを創る

歴史文化資源をはじめ、地域の魅力的な景観資源を結ぶ（仮称）ふるさと歴史の散歩道づくりを促進します。

おもてなしを感じる景観づくりと地域の活性化を図る

おもてなしを感じる景観を創る

地域の玄関口の魅力を高める

JR 中央本線および JR 小海線の各駅前や中央自動車道須玉 IC、長坂 IC、小淵沢 IC 周辺は、適切な修景、緑化を図り、観光地、地域の玄関口にふさわしい景観の向上に努めます。

特に、小淵沢駅、長坂駅、清里駅、日野春駅については、現在進められている駅周辺の整備と併せ、景観の向上を図ります。

おもてなしを感じる道路景観を創る

（主）北杜富士見線（八ヶ岳高原ライン）、八ヶ岳広域農道（レインボーライン）、清里高原道路、（主）茅野北杜葦崎線（七里岩ライン）など、本エリアの主要な景観の軸となっている道路については、眺望や周辺景観に配慮した道路施設の整備、緑化、沿道

の屋外広告物の適切な誘導等により、景観の向上を図ります。

地域の中心となるまちの景観の魅力を高める

長坂駅～長坂 IC 周辺、小淵沢駅周辺、清里駅周辺は、現在進められているまちづくり事業と併せて、地域の生活の中心にふさわしいまちなみ景観の向上と商店街等の活性化を図ります。

主要な観光ゾーンの魅力を高める

観光・文化・レクリエーション施設が集積する小淵沢道の駅周辺、甲斐小泉駅周辺、甲斐大泉駅周辺、大泉支所周辺、清春芸術村周辺などは、主要な観光ゾーン（地域活性化拠点）として景観の魅力の向上を図ります。

花と緑のまちづくりを進める

景観上重要な場所や主要道路の沿道などについては、市民参加による花植え活動等を促進し、景観の一層の向上を目指します。

景観を生かした活性化を図る

景観(観光)資源のブランド化を図る

地域ごとの話し合いやまち歩きなどを通じて、風景のもつ価値や魅力を発見・再認識し、地域の創意工夫による資源の付加価値づくりやオリジナリティの創出など、地域単位での景観まちづくりの促進を図ります。

また、テーマごとの観光コース、観光ルートの開発、既存の市民活動など、人のネットワークづくりを進めます。

都市と農山村の交流を深める

景観を中心に観光スタイル（楽しみ方）を転換していく視点から、「グリーンツーリズム」、「エコツーリズム」、「リトリート（長期滞在）」、「森の幼稚園」、「森林環境学習」など、都市と農山村の交流促進を図ります。

美しい景観を守り、育てていくためのルールをつくる

森の減少・荒廃を防止する

景観上大切な森や樹木を保全するとともに、一定のルールに基づき、無秩序な伐採や開発による森の減少を防止します。

また、松くい虫等の被害や手入れ不足で荒廃が進む森林にあっては、「北杜市森林整備計画」や「北杜市里山整備事業」等に基づき、適切な森林の整備と管理を図ります。

開畑跡地、伐採跡地についても、市民参加による植樹活動等を通じて、自生樹木等の植樹に努めます。

景観を損なう開発や行為を規制する

森林の伐採、開発行為や建築物等の行為、廃棄物の野積みなどの行為については、一定のルールに基づき適切な規制・誘導を図ります。

また、主要な道路沿道の看板等の屋外広告物、幟旗、交通標識、サイン、電飾などの光害などについても、一定のルールに基づく、適切な整備、規制・誘導を図ります。

耕作放棄地や空き家を有効に活用する

増加する耕作放棄地については、菜の花畑、そば畑等の景観的な活用を図るとともに、空き家、空き店舗についても有効な活用を検討します。

周辺景観や眺望に配慮した施設をつくる

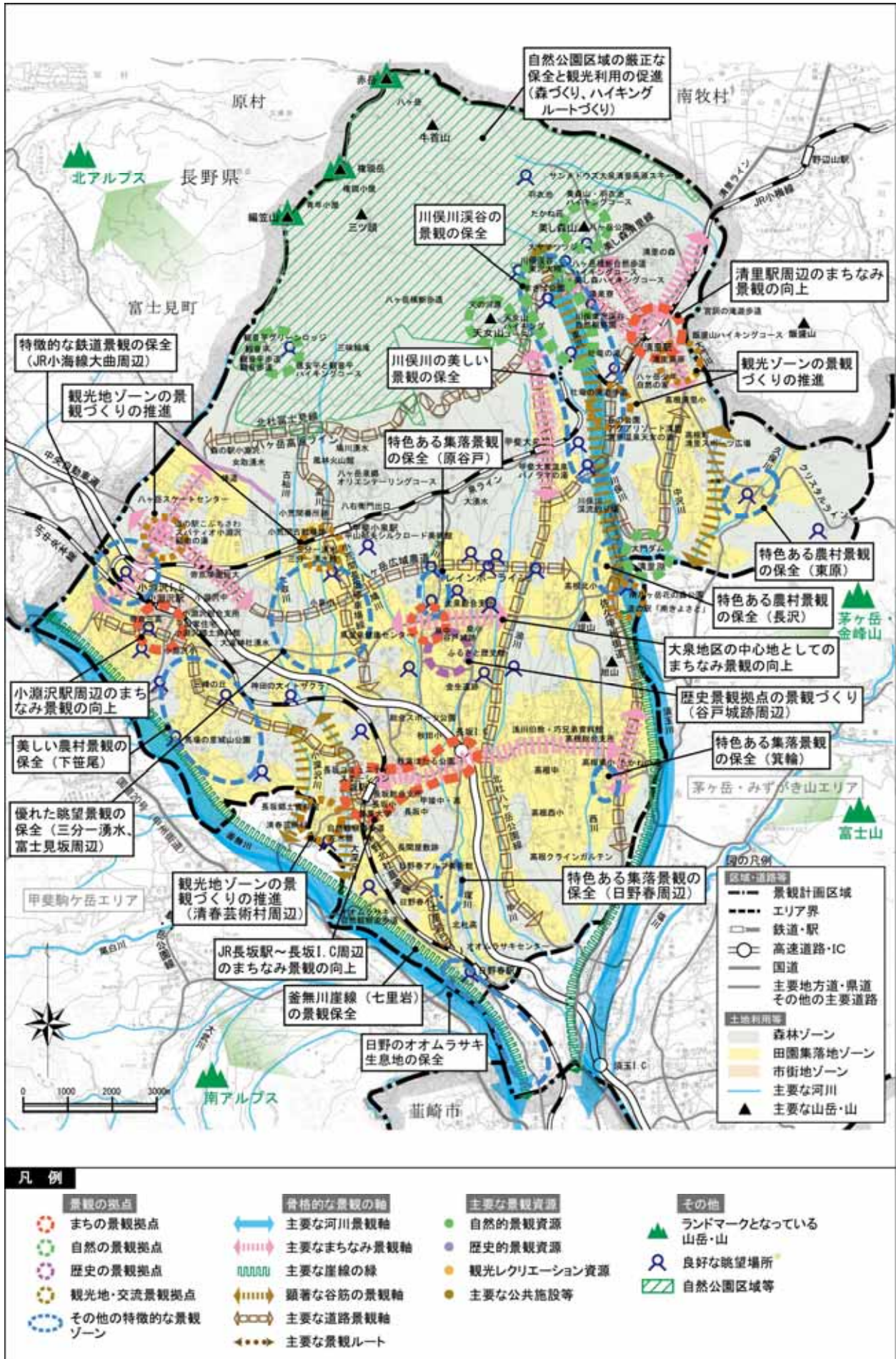
道路、河川や水路、公園、橋梁、公共建築物、公共サインなどの公共施設については、ガイドラインに基づき、周辺景観や眺望に配慮した整備を促進します。

また、建築物等についても一定のルールに基づく、適切な誘導を図ります。

その他の景観を妨げている多様な要因を改善する

ゴミの不法投棄の防止をはじめ、携帯アンテナ、景観への配慮に欠けた野立ての自動販売機、水路の汚れ、維持管理、使用済みのマルチやビニールハウスの放棄、過剰な電飾などの景観を妨げている要因については、マナーの向上や、一定の地域ルールに基づき、改善に努めていきます。

八ヶ岳南麓エリア景観形成方針図



注) * 良好な眺望場所は、エリア内に数多く分布していますが、ここでは景観研究会から提案のあったものを取りあげています。

(3) 甲斐駒ヶ岳山麓エリア

1) 景観の特性

本エリアは、甲斐駒ヶ岳を中心とした山岳・森林地域と山麓の里山・田園集落地域で構成されるエリアで、景観の構造特性やエリア景観の特色は、次のとおりです。

構造的にみた景観の特性

本エリアは、甲斐駒ヶ岳を中心に鳳凰三山、鋸岳、雨乞岳、日向山などの急峻な山岳地形、山麓に広がる起伏のある丘陵地と比較的緩やかな扇状地形、扇状地に突き出した中山の地形、八ヶ岳山麓エリアを隔てる釜無川の崖線（河岸段丘）、山麓を流れる尾白川、大武川、石空川等の河川など、変化のある地形構造となっています。

本エリアの景観構造は、こうした地形構造が土台となって、次のような骨格的な自然景観軸と特色ある景観ゾーンにより形づくられています。

甲斐駒ヶ岳山麓エリアの景観構造

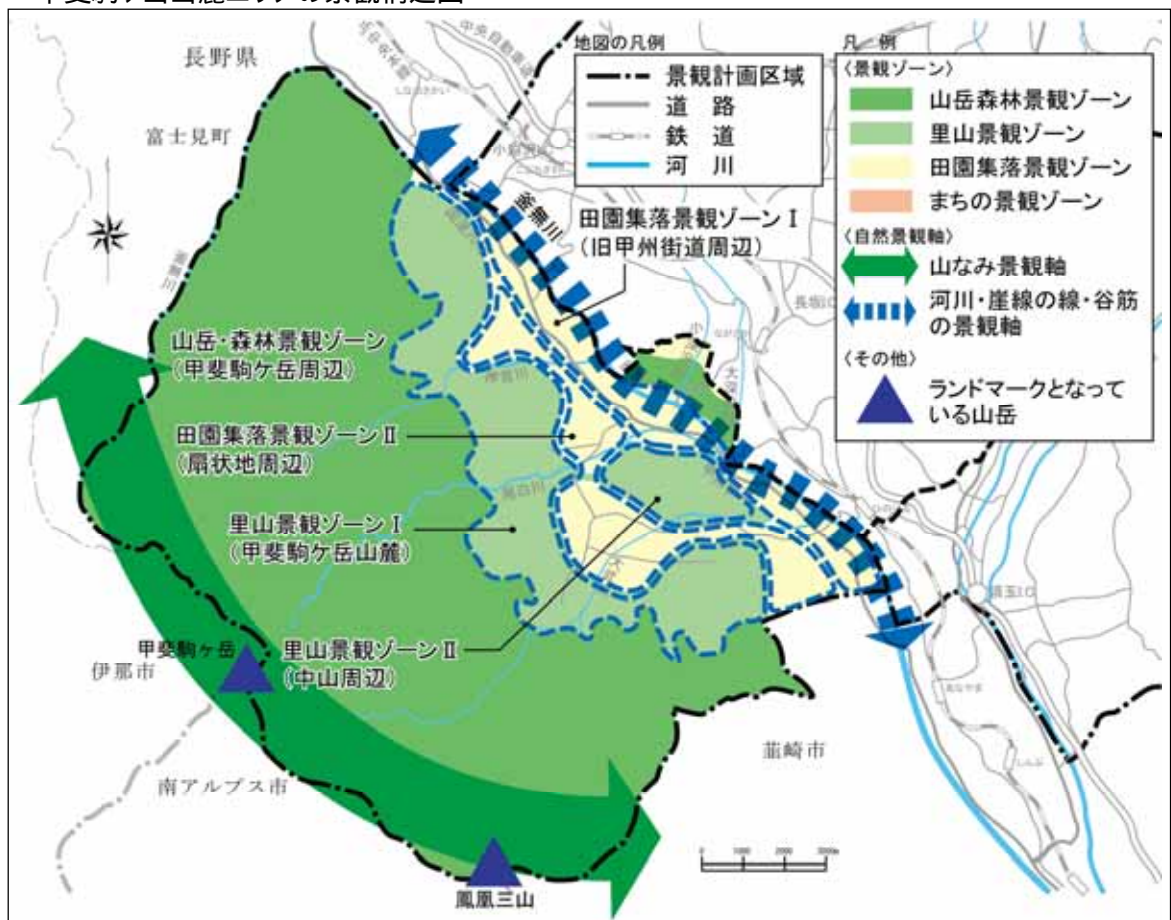
【自然景観軸】

- 甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山、鋸岳、雨乞岳、日向山などの山なみ景観軸
- 釜無川の水辺、崖線と緑の景観軸
- 尾白川、大武川、神宮川などの河川の景観軸

【景観ゾーン】

- 山岳・森林景観ゾーン（甲斐駒ヶ岳を中心とした山岳・森林景観）
- 里山景観ゾーンⅠ（山麓台地上に連なる里山と山間集落の景観）
- 里山景観ゾーンⅡ（扇状地に突き出した特徴ある里山（中山）の景観）
- 田園集落景観ゾーンⅠ（旧甲州街道沿いに古くから形成された歴史的なまちなみ景観）
- 田園集落景観ゾーンⅡ（白州地区、武川地区の扇状地一帯に広がる田園集落地の景観）

甲斐駒ヶ岳山麓エリアの景観構造図



景観の特色

本エリアの景観を特徴づけている主な景観類型（パターン）としては、次のようなものが挙げられます。

眼前に屹立する甲斐駒ヶ岳の眺望

甲斐駒ヶ岳直下の山麓にあるため、眼前に聳える甲斐駒ヶ岳等の南アルプスの山々の眺望は圧巻であり、本エリアの大きな景観の特徴となっています。

甲斐駒ヶ岳と特徴的な自然景観

甲斐駒ヶ岳周辺は、南アルプス自然公園、県立南アルプス巨摩自然公園区域に指定され、地域のランドマークとなっている甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山、雨乞岳、日向山は、多くの登山者に親しまれています。

特徴的な自然景観としては、山梨県自然環境保全条例による「自然保全地区」に指定されている白州地区の大岩山、清水谷、大平や「自然記念物」に指定されている白州地区の石尊神社のアカマツ林をはじめ尾白川溪谷（日本名水百選）、大武川、石空川の水辺、精進ヶ滝（日本の滝百選）、釜無川と崖線（七里岩）などが挙げられます。

旧甲州街道の歴史的なまちなみ景観と特色ある歴史文化的景観

国道20号に沿った旧甲州街道の台ヶ原、教来石は、かつて宿場町として栄えた歴史があり、往時をしのばせる古い家並みや屋号が残されています。

また、甲斐駒ヶ岳の信仰登山の基地であった竹宇駒ヶ岳神社、横手駒ヶ岳神社をはじめ、清泰寺、武川地区の萬休院、実相寺などの社寺、台原家住宅、北原家住宅などの歴史的建造物、山高神代桜、柳澤氏ゆかりの菩提寺や屋敷跡、餓鬼の喰（のど）、青銅鉦、中山ののろし台など、地域の歴史を物語る歴史文化的な資源が多く分布し、地域住民の心の拠り所となっています。

このほか、古くから形成された集落地では、酒造蔵、社寺、古民家、古木、蔵、水路、祠や塚などの歴史資源も多く見られます。

本市の誇る米どころ、水田を中心とした特色ある農村景観

本エリアは、豊かな清流を背景に稲作が発達し、武川米に代表される本市の誇る米どころとなっています。

甲斐駒ヶ岳を背景に、山麓の扇状地に分布する大小の集落地、尾白川や大武川周辺の水田地帯、里山や樹林地、河川の水辺と清流が一体となって、本エリアならではの特色ある農村景観を形成しています。

特徴的な眺望景観

山麓台地や扇状地上部からの眺望に優れており、甲斐駒ヶ岳をはじめ、釜無川の崖線越しに眺める八ヶ岳や茅ヶ岳、国道20号周辺等からの富士山の眺めなど、他のエリアとは異なった特徴的な眺望が広がっています。

観光ゾーンのにぎわいある景観

尾白の森名水公園べるが周辺、台ヶ原宿周辺、道の駅はくしゅう、フレンドパークむかわ周辺は、本エリアの主要な観光ゾーンとなっており、シーズン中はにぎわいをみせています。

また、山高神代桜、眞原の桜並木も桜の名所として知られています。

地域の生活拠点となっているまちの景観

白州地区白須、武川地区牧原周辺は、支所等の公共施設や店舗等が立地するなど、地域の生活の中心となる市街地を形成しています。

山麓に多く分布する林間住宅地の景観

山麓の森林地域には、別荘地など、数多くの林間住宅が分布しており、森と一体となって、リゾート地としての特色ある景観を形成しています。

地域の暮らしびりを伝える祭や行事の景観

下教来石の獅子舞や台ヶ原の虎頭の舞、道祖神祭り、甲斐駒ヶ嶽神社の代太神楽、台ヶ原の骨董市や蔵開き、白州の里名水まつり、むかわ米・米まつりなど、年間を通して地域の祭や行事、イベントが数多く実施されており、地域の景観を特徴づけています。

2) 景観形成の目標

景観特性や景観研究会の提言等を踏まえ、本エリアの景観形成の目標と重点テーマを次のように設定します。

< 景観形成の目標 >

古道の歴史文化と甲斐駒から広がる風景づくり

- 風土を慈しみ、思いやりと深みのある風景をみんなで育む -

眼前に聳える甲斐駒ヶ岳など南アルプスの山々、山々から流れ出る豊かな清流、山麓の扇状地に形成されたのどかな水田地帯と集落地の景観、今なお往時の面影を伝える旧甲州街道の歴史的なまちなみ、名水の里、武川米で知られる米の里など、自然と風土、長い歴史と先人達の営みの中で形づくられてきた独特の風景が形成されています。こうした思いやりと深みのあるふるさとの風景をみんなで大切に守り、より魅力的な風景を育てていくことを目指します。

< 景観形成の重点テーマ >

旧甲州街道の古道を巡る風景づくり

台ヶ原宿や教来石宿を中心とした旧甲州街道の古道周辺は、古道や宿場町の歴史、伝統・文化を再認識し、まちづくりに積極的に活用するとともに、周辺の里山の風景、森林・山岳の眺望を守り、付加価値を高めて生かすなど、歴史的なまちなみゾーンとして、古道を巡る活力と魅力ある風景づくりを目指します。

甲斐駒ヶ岳を中心とした景観ルートづくり

山麓の扇状地一帯は、山岳と里山、水田地帯と集落地が織りなす特色ある農村風景が広がり、尾白川渓谷や大武川の水辺、優れた眺望場所、山高神代桜などの古木、尾白の森名水公園べるがや各種キャンプ場をはじめとした観光レクリエーション施設などが地域の景観を特徴づけています。

既存道路や整備中の広域農道の道路景観の魅力づくりや眺望ポイントの整備、散策ルートの整備などにより、山麓に広がる風景のみどころを回遊する景観ルートづくり（風景回廊づくり）を目指します。



・実相寺境内の桜と甲斐駒ヶ岳

3)重点テーマの景観形成方針

市全体の景観形成方針や景観研究会の提言等を踏まえ、重点テーマの景観形成方針を次のように設定します。

旧甲州街道の古道を巡る風景づくり

古道の歴史の顕在化、まちなみ景観の魅力を高める

古道沿いの社寺、古民家、祭、伝統行事など、潜在的な歴史資源の顕在化を図ります。

また、入口部の石碑設置や、サイン、休憩スペース、駐車場、トイレ等の整備、電線類地中化の検討、花植え、空き家の有効活用等により、古道とまちなみ景観の魅力づくりを促進します。



・台ヶ原入口にあるサインと休憩スペース

古道のまちなみ景観を整える

古道沿いの景観上問題となっている空き家対策、看板や標識類の改善、電線類地中化の検討を図るとともに、台ヶ原地区で締結された経緯がある「まちなみ協定」のようなルールづくりの普及を図ります。



・台ヶ原宿のまちなみ

観光拠点としての活力を高める

既存の地域イベントの充実・発展を図るとともに、後述する地域観光ルート（環状の周遊ルート）に組み込み、観光マップ等による積極的なPRにより、地域の新しい観光ゾーンとして活性化を図ります。

古道から広がる良好な眺望を守る

古道から眺める甲斐駒ヶ岳などの山々、釜無川崖線の緑、周辺の田園風景など、良好な眺望を損なわないよう景観に配慮した施設整備やまちなみ景観の形成を図ります。



・旧甲州街道の風景



・旧甲州街道の風景



・釜無川崖線の緑と田園の風景

甲斐駒ヶ岳を中心とした景観ルートづくり

環状の周遊ルートの魅力を高める

中山を挟み、白州地区と武川地区の山麓の主要な見所を結ぶ2つの環状の周遊ルートの形成を目指します。

2つの周遊ルートの骨格となる既存の県道や現在整備中の甲斐駒ヶ岳広域農道については、景観に配慮した道路整備を図るとともに、次のような取り組みを図り、周遊ルートとしての魅力の向上を図ります。

- 既存資源を生かした散策ルートづくり（桜並木（真原の桜並木、県道横手日野春停車場線沿い、山高神代桜）、武川のホテル、ハイキングコース（滝見台）など）
- オオムラサキ遊歩道などの既存散策ルートとの連携
- 石空川沿いの散策ルートの整備や柳澤氏ゆかりの歴史資源の活用など
- 餓鬼の喰（のど）など、潜在的な地域資源の顕在化と景観づくりへの活用
- 良好な眺望場所の活用と場所の整備（日野春トンネル手前の坂道、べるが通り、富士山の眺望など）
- サイン、駐車場、トイレ等の設置、花植え活動の推進

主要な観光ゾーンやまちの拠点の魅力を高める

日本名水百選に選定されている尾白川渓谷、尾白の森名水公園べるが周辺、道の駅はくしゅう、大武川の水辺、フレンドパークむかわ周辺、サントリー周辺などは、主要な観光ゾーン（地域活性化拠点）として、景観の向上を図ります。

また、白州地区白須、武川地区牧原周辺については、地域の生活の中心にふさわしいまちなみ景観の向上を図ります。



・尾白の森名水公園べるが



・フレンドパークむかわ

里山・森・清流の景観を守り・生かす

山麓一帯に広がる里山については、無秩序な森林伐採の防止を図るとともに、「北杜市森林整備計画」や「北杜市里山整備事業」等に基づき、適正な森林の整備、保全と管理、市民参加による植林活動等により、里山の機能や景観の維持・向上に努めます。

また、尾白川渓谷（日本名水百選）や大武川、石空川の清流と水辺空間は、重要な景観として保全を図るとともに、景観に配慮した河川の整備や親水空間づくりを図ります。



・石空川上流にある精進ヶ滝

特徴的な農の風景・集落景観を守り・生かす

農地については、優良農地の保全、耕作放棄地の有効利用（観光農園、市民農園、景観緑地等）、深刻化する鳥獣害対策の推進、棚田の景観的な活用、地産地消の推進など、農の風景の保全と地域農業の活性化を図ります。

集落地については、周辺と調和した家並みの形成、樹林地や屋敷林、古木や生け垣、水路などの景観資源の保全、空き家の有効利用などに努めます。

特に、特色ある集落景観を形成している竹宇、横手、山高などの集落地については、景観の維持・保全に努めます。



・水田と甲斐駒ヶ岳

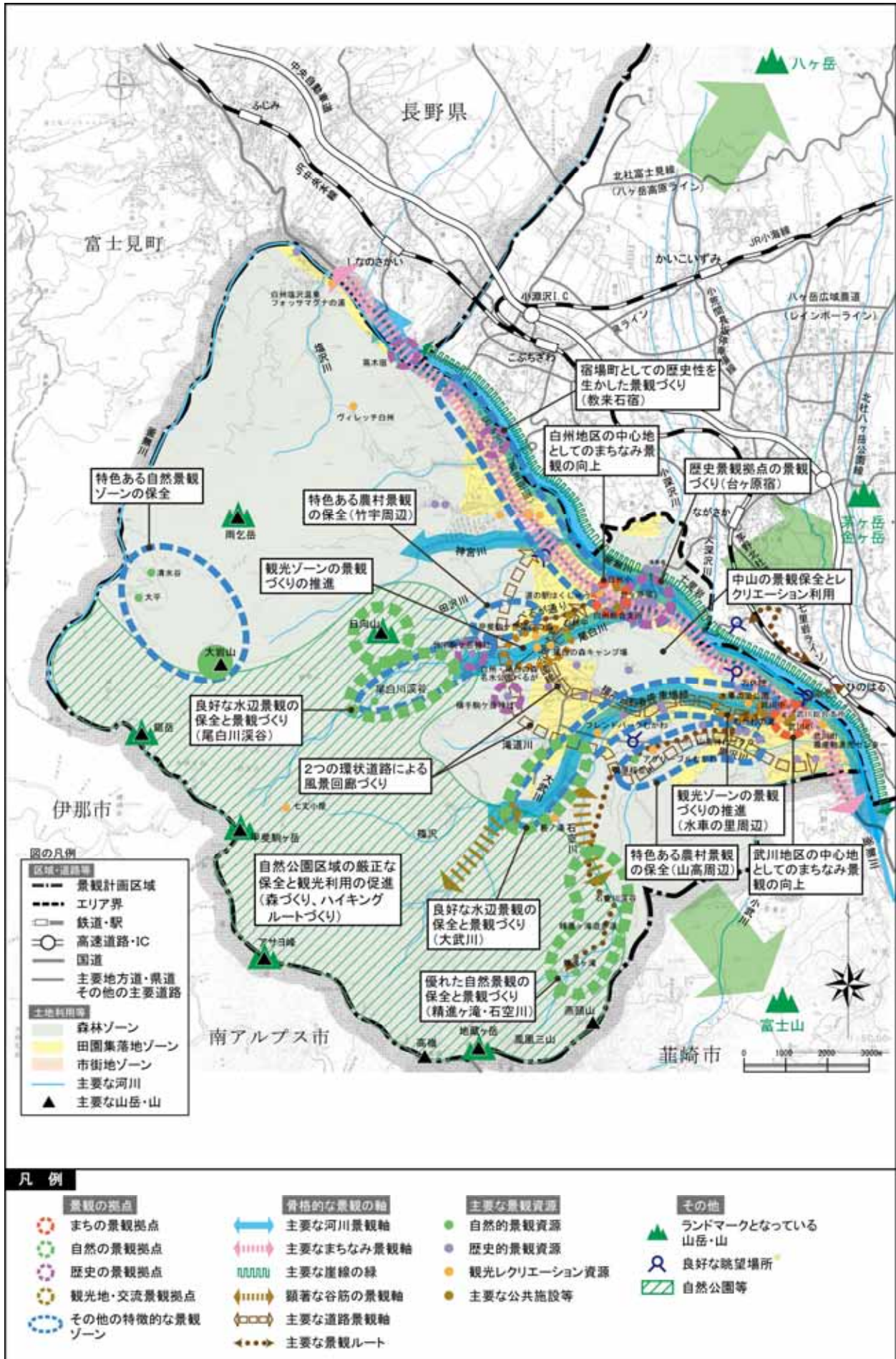


・武川米の実りと八ヶ岳

周遊ルートの景観を改善する

周遊ルート沿いの景観上問題となっている耕作放棄地、里山の荒廃、ごみの不法投棄、屋外広告物や幟旗、電飾などの光害などについては、創意工夫、マナーの向上、一定のルールに基づき、改善に努めます。

甲斐駒ヶ岳山麓エリア景観形成方針図



注) * 良好な眺望場所は、エリア内に数多く分布していますが、ここでは景観研究会から提案のあったものを取りあげています。

4 景観形成推進ゾーンの方針

(1) 景観形成推進ゾーンの選定

基本方針に基づいた景観づくりを行うためには、市民、事業者および行政が一体となって進めていくことが必要です。

しかしながら、これらを直ちに全市的に展開することは困難です。このため、本市の中でも、特に先導的かつ重点的に景観施策を推進すべき一定のゾーンを「景観形成推進ゾーン」として位置づけ、できるところから少しずつ景観づくりを進めていきます。

ここでは次の考え方に基づいて、下記の「景観形成推進ゾーン」を選定します。

【景観形成推進ゾーンの選定の考え方】

本市のまちの拠点、顔として、良好な景観形成が望まれるところ
 北杜市らしさを象徴する良好な景観ゾーンで、景観の保全が必要となるところ
 まちづくりに関するプロジェクトが実施あるいは計画されているところ
 市民の発意により、景観まちづくりに関する取り組みが行われているところ 等

【景観形成推進ゾーンの選定】

< 茅ヶ岳・みずがき山麓エリア >

茅ヶ岳広域農道周辺ゾーン
 若神子～大豆生田周辺ゾーン
 津金の田園集落ゾーン
 増富ラジウム温泉峡周辺ゾーン

川俣川周辺ゾーン
 谷戸城跡周辺ゾーン
 富士見坂・三分一湧水周辺ゾーン
 JR 小海線大曲周辺ゾーン
 下笹尾の田園集落ゾーン
 清春芸術村周辺ゾーン

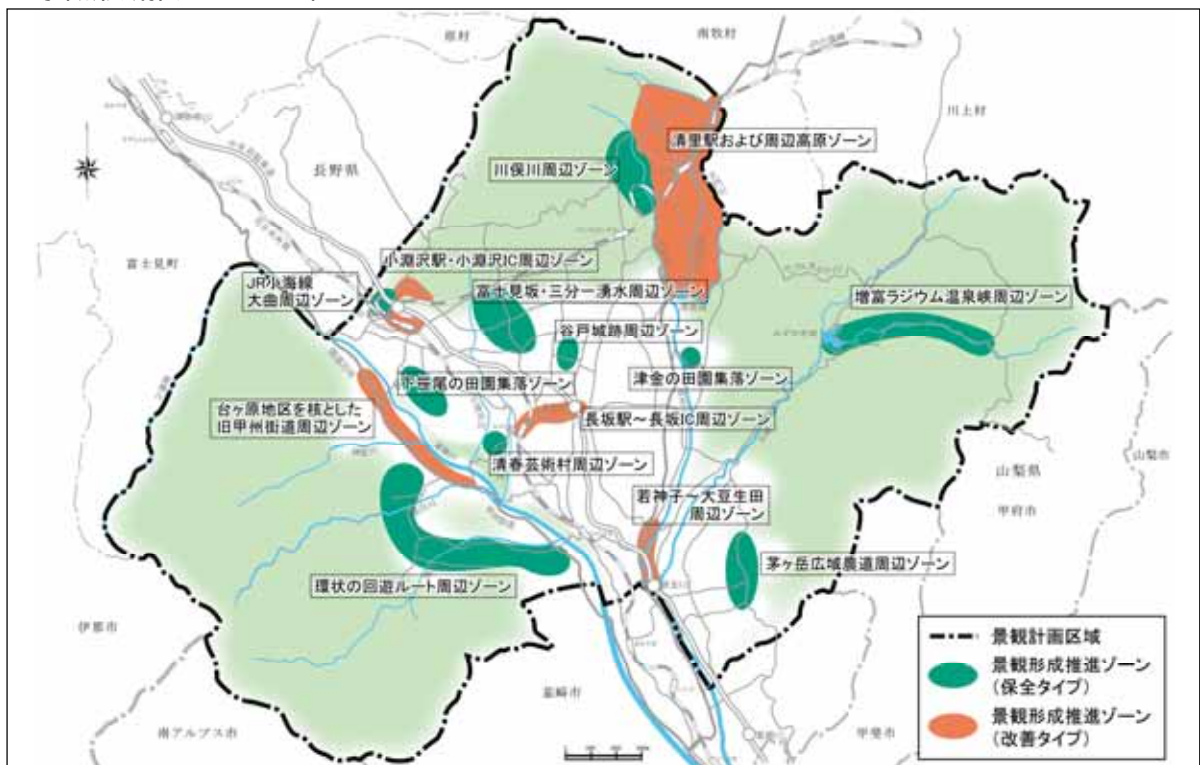
< ハヶ岳南麓エリア >

小淵沢駅・小淵沢 IC 周辺ゾーン
 長坂駅～長坂 IC 周辺ゾーン
 清里駅および周辺高原ゾーン

< 甲斐駒ヶ岳山麓エリア >

台ヶ原地区を核とした旧甲州街道周辺ゾーン
 環状の回遊ルート周辺ゾーン

景観形成推進ゾーンの位置



(2) 景観形成推進ゾーンの景観形成方針

< 茅ヶ岳・みずがき山麓エリア >

茅ヶ岳広域農道周辺ゾーン

現状と課題

- 茅ヶ岳広域農道周辺の高原台地からは、南アルプス、八ヶ岳、富士山の一大パノラマ景観が展開し、八ヶ岳高原とともに、本市を代表する一大ロケーションゾーンとなっています。また、沿道には県立フラワーセンター（ハイジの村）やひまわり畑等の観光レクリエーション施設が集積し、本市の観光交流拠点のひとつとなっています。
- 本市を代表する一大ロケーションゾーンとしての優れた眺望景観の維持・保全と観光交流拠点としてのにぎわいある景観の創出が望まれます。

景観形成の目標

優れた眺望景観の維持・保全と観光交流拠点にふさわしいにぎわいある景観の創出を目指します

景観形成方針

優れた眺望景観を保全する

- ・視領域内の土地や建築物等に関する行為の制限、緑化の推進、電線類をはじめとする景観阻害要因の改善等により、優れた眺望景観の保全を図ります。



・茅ヶ岳広域農道



・茅ヶ岳広域農道からの眺望

観光交流拠点として、にぎわいある景観の創出を図る

- ・広域農道等の道路の景観整備や緑化、景観に配慮した観光施設の整備、良好な沿道の広告物やまちなみ誘導などにより、観光交流拠点としてにぎわいある景観の創出を図ります。



・ひまわり畑

若神子～大豆生田周辺ゾーン

現状と課題

- 須玉地区の生活の中心となっている市街地ゾーンで、市役所および支所など公共施設、商業施設、店舗等が多く立地しています。旧佐久往還若神子宿として栄えた歴史もあり、まちなかには蔵、歴史的な建造物もみられます。また、須玉 IC は、観光地清里方面の玄関口となっています。
- 宿場町の歴史性を生かした市街地の魅力と活力の向上、清里等観光リゾートエリアの玄関口にふさわしい景観形成が望まれます。

景観形成の目標

地域の生活拠点、清里等観光リゾートエリアの玄関口にふさわしい景観づくりを目指します

景観形成方針

宿場町の歴史性、潜在的な資源を生かした市街地の魅力を高める

- ・市街地ゾーンについては、旧街道の修景と回遊ルートの整備、歴史的建造物の保存、空き店舗等の活用など、歴史性や潜在的資源を生かした魅力の向上とまちの活性化を図ります。

国道 141 号沿道のまちなみを整える

- ・店舗立地が進む国道 141 号周辺は、緑化、広告物や建築物等の適切な誘導により、まちなみ景観の向上を図ります。

玄関口 (IC 周辺) の魅力を高める

- ・須玉 IC 出入口周辺については、周辺の修景・緑化、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。



・若神子の街道沿いの家並み

津金の田園集落ゾーン

現状と課題

- 須玉川河岸段丘上にある津金集落は、古くから形成された集落地で、津金衆の里としても有名で、眺望に優れ、リンゴ畑などの農地、集落地、里山が一体となって特徴的な農村景観を形成しています。また、津金の三代校舎や海岸寺などの特色ある歴史資源も多く、住民等による地域活性化に向けた取り組みも進められています。
- 市内でも、特徴的な農村景観を有するゾーンであり、景観の維持・保全と地域活性化に向けた一層の取り組みが望まれます。

景観形成の目標

特徴的な農村景観の維持・保全と特色ある農村景観の魅力を生かした活性化を目指します

景観形成方針

身近な景観資源の保全と活用を図る。

- ・農地をはじめ、周辺の里山、樹林地や古木、屋敷林、古民家、水路など、農村景観を特徴づけている身近な景観資源を保全するとともに、それらの景観的な関係性*に十分留意しながら、資源を顕在化し、景観まちづくりへの活用を図ります。

観光交流拠点としての魅力を高める

- ・三代校舎やおいしい学校のPR、地元特産品の開発、耕作放棄地の有効利用（市民農園、観光農園等）などを進め、特色ある農村景観の魅力を生かした観光交流拠点として活力の向上を図ります。



・三代校舎周辺



・集落内の道と民家



・交流拠点として再生された古民家

注) *景観的には、周囲の里山、樹林地や林、屋敷林、古民家、水路などの個別要素の保全だけでなく、それらが一定の秩序をもって成り立っている一体的な風景が特に重要である。

増富ラジウム温泉峡周辺ゾーン

現状と課題

- 須玉地区の増富ラジウム温泉峡とみずがき湖、通仙峡、本谷川溪谷を中心としたゾーンで、秋の紅葉など、本市を代表する景勝地となっています。
- 本市を代表する景勝地および温泉観光地として、自然景観の維持・保全、増富ラジウム温泉峡の魅力と活力の向上が望まれます。

景観形成の目標

自然景観の保全と増富ラジウム温泉峡の魅力の向上と活性化を目指します

景観形成方針

自然景観の保全と活用を図る

- ・みずがき湖、通仙峡、本谷川溪谷などにおけるごみの不法投棄の防止など、自然景観の保全を図るとともに、眺望場所の整備、散策コースの充実、景観に配慮した施設整備などを図ります。

増富ラジウム温泉峡の魅力と活力を高める

- ・増富ラジウム温泉のPR、道路空間の修景・緑化、散策ルートの充実など、温泉峡の魅力の向上と活力の向上を図ります。



・本谷川溪谷



・増富ラジウム温泉峡

<八ヶ岳南麓エリア>

小淵沢駅・小淵沢 IC 周辺ゾーン

現状と課題

- 八ヶ岳南麓観光リゾートエリアの玄関口となっているゾーンで、小淵沢駅前には商店街が形成され、小淵沢 IC 周辺には、数多くの観光レクリエーション施設が集積しています。小淵沢駅周辺については、これまでまちづくり交付金事業により自由通路、周辺道路の整備等を進めてきました。
- 道路の景観整備や建築物等に関して一定の制限*をかけるなどの景観形成の取り組みが行われていますが、今後も、観光リゾートエリアの玄関口にふさわしいおもてなしを感じさせる景観形成が望まれます。

景観形成の目標

八ヶ岳南麓観光リゾートエリアの玄関口、地域の生活拠点にふさわしい景観づくりを目指します

景観形成方針

玄関口の魅力を高める

- ・小淵沢駅については、施設の修景・緑化などにより、玄関口にふさわしい良好な景観形成を目指します。
- ・小淵沢 IC 出入口周辺については、周辺の修景・緑化、屋外広告物等の適正な誘導を図ります。



・小淵沢駅



・駅前通り

駅前商店街の魅力を高める

- ・駅前商店街については、通りの修景・緑化、広告物やまちなみの誘導など、景観の向上を目指します。



・駅前商店街



・駅前商店街

観光レクリエーションゾーンの魅力を高める

- ・景観に配慮した道路整備が進めていますが、今後も必要に応じて主要な道路や歩行者ルートの景観整備を促進します。
- ・緑化の推進、屋外広告物やまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善などにより、景観の向上を図ります。



・中心街のまちなみ

注) * 国立公園区域を除く小淵沢地区全域が、山梨県建築基準法施行条例による建築確認申請が必要な地域となっています。

長坂駅～長坂 IC 周辺ゾーン

現状と課題

- 本市の中心的な市街地を形成し、かつ、八ヶ岳南麓観光リゾートエリアの玄関口となっているゾーンであり、長坂駅周辺には、商店街をはじめ、支所等主要な公共施設、工業施設が集積し、長坂 IC 周辺には、大規模な商業施設や病院等が集積しています。長坂駅周辺の既存商店街については、これまでまちづくり交付金事業により、駅前広場、交流施設、道路整備等を進めてきました。
- 今後も、本市の中心的な市街地、観光リゾートエリアの玄関口にふさわしい景観形成が望まれます。

景観形成の目標

本市の中心的な市街地、八ヶ岳南麓観光リゾートエリアの玄関口にふさわしい魅力とにぎわいある景観づくりを目指します

景観形成方針

玄関口(長坂駅、長坂 IC)の魅力高める

- ・長坂駅については、施設の修景・緑化などにより、玄関口にふさわしい良好な景観形成を目指します。
- ・長坂 IC 出入口周辺については、修景・緑化や屋外広告物等の適正な誘導を図ります。



・長坂駅前



・長坂コミュニティ・ステーション

中心商店街の魅力高める

- ・中心商店街については、道路空間の修景・緑化、沿道の広告物やまちなみの誘導など、景観の向上を目指します。



・長坂商店街



・長坂商店街

長坂 IC 周辺のにぎわいあるまちなみ景観を形成する

- ・店舗等の立地が進む IC 周辺については、アクセス道路である(主)長坂高根線の整備に併せ、道路空間の修景・緑化の推進、屋外広告物やまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、魅力とにぎわいあるまちなみ景観の形成を図ります。



・長坂 IC 周辺の大規模商業施設

清里駅および周辺高原ゾーン

現状と課題

- JR 清里駅を中心に、西の川俣川、東の大門川、北の美し森、南の清里湖に囲まれた清里高原リゾートゾーンで、八ヶ岳を背景に、優れた眺望、豊かな自然に恵まれ、数多くの観光レクリエーション施設が集積しています。
また、牧場、酪農の風景など、開拓・入植の歴史と人々の営みによって形づくられた特徴的な景観は、本ゾーンの大きな特色となっています。
- 本ゾーンは、県内では唯一、山梨県景観条例に基づく「景観形成地域」*に指定され、建築確認申請と「清里景観形成基準」により、指導、助言が行われてきたゾーンであり、今後とも、良好な景観形成に向けた取り組みを一層推進していく必要があります。

景観形成の目標

山梨県を代表する高原観光リゾート地「清里」にふさわしいおもてなしの心と暮らし方を誇れる景観づくりを目指します

景観形成方針

清里駅前周辺の魅力を高める

- ・ 玄関口となる清里駅については、施設の修景・緑化などにより、玄関口にふさわしい良好な景観形成を目指します。
- ・ また、駅前商店街については、空き店舗の有効活用、道路空間の修景・緑化、沿道の広告物やまちなみの適正な誘導などにより、景観の向上とにぎわいの創出を図ります。



・ 清里駅前の商店街

優れた眺望、自然景観、牧場等の特色ある景観の保全を図る

- ・ 八ヶ岳をはじめ、富士山、南アルプス、みずがき山を一望する優れた眺望景観、川俣川溪谷、大門川、清里湖の水辺や森等の豊かな自然、数多く分布する牧場・採草放牧地の風景など、本ゾーンを特徴づける景観の保全を図ります。



・ 放牧地と八ヶ岳の風景



・ まきば公園からの眺望

主要な通りの魅力を高める

- ・ 八ヶ岳高原ライン、清里高原道路、ポール・ラッシュ通り、牧場通り、国道141号等の主要な観光道路や観光客等、多くの人々が利用する主要な歩行者ルートについては、道路空間や歩行者空間の修景整備、緑化の推進、屋外広告物やまちなみの適正な誘導、景観阻害要因の改善等により、景観の向上と魅力づくりを図ります。



・ ポール・ラッシュ通りの景観



・ 八ヶ岳高原ライン

景観に配慮した建築物等の適正な誘導を図る

- ・ 観光レクリエーション拠点をはじめ、本ゾーン全体について、北杜市景観条例に基づく土地や建築物等に関する一定の行為の制限、景観阻害要因の改善などにより、良好な地域景観の維持・保全を図ります。

注) *平成5年6月14日に山梨県景観条例に基づく「清里景観形成地域」に指定されています。

川俣川周辺ゾーン

現状と課題

- 川俣川渓谷とその周辺の広葉樹を主体とした森林ゾーンで、八ヶ岳高原ラインの東沢大橋や清里高原道路からその雄大で美しい景観を眺められ、本市を代表する景勝地となっています。
- 川俣川渓谷周辺は、「山梨県自然環境保全条例」に基づく「景観保存地区」に指定されており、本市を代表する景勝地として、保全策の一層の強化と眺望場所の魅力づくりが望まれます。

景観形成の目標

本市を代表する景勝地としての厳正な保全を図るとともに、魅力的な眺望場所の創造を目指します

景観形成方針

優れた自然景観を厳正に保全する

- ・森林の適正な維持管理を図るとともに、視領域内の土地や建築物等に関する行為の制限、屋外広告物や景観阻害要因の改善などにより、優れた景観の厳正な保全を図ります。

眺望場所の魅力高める

- ・八ヶ岳高原ラインや清里高原道路の沿道など、既存および新たに整備する眺望場所については、眺望景観に配慮した修景・緑化などの魅力づくりを図ります。



・八ヶ岳高原大橋からの眺め



・川俣川渓谷の風景

谷戸城跡周辺ゾーン

現状と課題

- 大泉地区の谷戸城跡、金生遺跡を中心とした歴史的な景観ゾーンで、眺望に優れ、周辺の田園景観と一体的となって特徴的な景観を形成しています。
- 谷戸城跡周辺は、「山梨県自然環境保全条例」に基づく「景観保存地区」に指定されていますが、本市を特徴づけている代表的な景観拠点として、周辺も含めた景観の保全と観光地としての魅力づくりが望まれます。

景観形成の目標

本市の代表的な歴史景観拠点、観光交流拠点にふさわしい、景観の保全と魅力づくりを目指します

景観形成方針

歴史拠点としての魅力を高める

- ・既存の史跡公園、遺跡公園を歴史学習の場として活用するとともに、公園周辺の散策ルートの整備など歴史拠点としての魅力の向上を図ります。

優れた眺望を保全する

- ・景観に配慮した施設整備、周辺に対する眺望に配慮した土地や建築物等に関する行為の制限、景観阻害要因の改善など、優れた眺望景観の維持・保全に努めます。



・金生遺跡



・谷戸城跡周辺の風景

富士見坂・三分一湧水周辺ゾーン

現状と課題

- 長坂地区の富士見坂・三分一湧水周辺は、茅ヶ岳や南アルプス、遠く富士山や甲府盆地等を一望するパノラマ景観が展開しており、周辺の田園景観と一体となって特徴的な景観を形成しています。
- 市内でも優れた眺望を有するゾーンであり、景観の維持・保全が望まれます。

景観形成の目標

本市の代表的な眺望ゾーンとして、優れた眺望の維持・保全を目指します

景観形成方針

眺望に配慮した公共施設の整備を図る

- ・公共施設（公共建築物、道路、公園等）の整備にあたっては、主要な眺望地点や周辺からの眺望景観に配慮した施設整備を図ります。

優れた眺望を保全する

- ・視領域内の土地や建築物等に関する行為の制限、緑化の推進、景観阻害要因の改善などにより、優れた眺望景観の保全を図ります。



・富士見坂からのパノラマ風景



・富士見坂からの富士山の眺望

JR 小海線大曲周辺ゾーン

現状と課題

- 小淵沢地区の JR 小海線大曲周辺は、眺望が優れ、列車がループ状に大きく曲がって走るため、八ヶ岳を背景とした列車の風景、パノラマ風景が次々と場面展開する車窓の風景など、景観的に大きな特色を持つゾーンとなっています。
- 市内でも非常に特徴的な眺望を有するゾーンであり、観光資源としても貴重であることから、景観の維持・保全が望まれます。

景観形成の目標

本市の特徴的な眺望ゾーンとして、優れた眺望の維持・保全を目指します

景観形成方針

眺望に配慮した建築物等の適正な誘導を図る

- ・鉄道から一定幅のゾーン内の土地や建築物等に関する行為の制限、景観阻害要因の改善などにより、優れた眺望景観の保全を図ります。



・JR 小海線を走るハイブリット車両



・JR 小海線大曲付近

下笹尾の田園集落ゾーン

現状と課題

- 小淵沢地区下笹尾周辺の集落は、古くから形成された集落地であり、甲斐駒ヶ岳の眺望、七里岩の崖線の緑、起伏のある地形と樹林、棚田、静かな佇まいの家並みなど、優れた眺望と特色ある農村景観を形成しています。
- 市内でも、特徴的で美しい農村景観を有するゾーンであり、景観の維持・保全が望まれます。

景観形成の目標

本市の特徴的な農村景観ゾーンとして、景観の維持・保全を目指します

景観形成方針

身近な景観資源の保全と活用を図る

- ・優れた眺望景観の保全をはじめ、農地や樹林地、古木、屋敷林、古民家、水路など、農村景観を特徴づけている身近な景観資源を保全するとともに、資源を顕在し、景観まちづくりへの活用を図ります。



・下笹尾の農村風景

景観に配慮した建築物等の適正な誘導を図る

- ・集落地周辺の土地や建築物等に関する行為の制限、景観阻害要因の改善などにより、良好な農村景観の維持保全を図ります。



・下笹尾の古民家

清春芸術村周辺ゾーン

現状と課題

- 長坂地区中丸にある清春芸術村周辺は、清春の桜、甲斐駒ヶ岳の眺望に優れ、歴史資料館等が立地しているなど、本市の観光交流拠点のひとつとなっています。
- 近年、周辺での別荘等の住宅開発が進みつつあり、良好な地域景観の維持・保全が望まれます。

景観形成の目標

本市の特徴的な景観拠点ゾーンとして、景観の維持・保全を目指します

景観形成方針

桜や森林の適正な維持管理を図る

- ・神代桜や神田の大イトザクラと並んで桜の名所となっている清春芸術村の桜の保存に努めます。
- ・松くい虫等の被害により荒廃が進みつつある周辺のアカマツ林を主体とした森は、森林整備計画や里山整備事業等に基づき、適正な整備、維持管理を図ります。



・桜と甲斐駒ヶ岳

景観に配慮した建築物等の誘導を図る

- ・周辺の土地や建築物等に関する一定の行為の制限、景観阻害要因の改善などにより、良好な地域景観の維持・保全を図ります。



・周辺の緑と眺望景観

< 甲斐駒ヶ岳山麓エリア >

台ヶ原地区を核とした旧甲州街道周辺ゾーン

現状と課題

- 武川～台ヶ原～教来石は、旧甲州街道の宿場町があったところで、旧街道沿いの台ヶ原（日本の道百選）、教来石には往時をしのぶ古い家並みが形成されています。特に、台ヶ原地区では、歴史的なまちなみを維持するための「まちなみ協定」が締結された経緯もあり、花植え活動、蔵開きや骨董市等のイベント開催など、まちづくりの取り組みが行われています。
- 本市を代表する歴史的なまちなみゾーンとして、まちなみ景観の維持、向上を図るとともに、地域活性化に向けた一層の取り組みが望まれます。

景観形成の目標

台ヶ原宿を核とした歴史・文化的なまちなみ：「古道を巡るルートづくり」による景観形成と、新たな観光拠点としての活性化を目指します

景観形成方針

古道の歴史の顕在化、まちなみの魅力を高める

- ・ 台ヶ原地区では、これまで、入口部の石碑や、サイン、休憩スペースが整備されたが、今後も、旧街道沿いの社寺、古民家、祭、伝統行事など、潜在的な歴史資源の顕在化を図るとともに、電線類地中化の検討、駐車場、トイレ等の整備、花植え、空き家の有効活用等により、古道とまちなみ景観の魅力づくりを促進します。



・ 台ヶ原のまちなみ



・ 下教来石のまちなみ

古道のまちなみを整える

- ・ 古道沿いの景観上問題となっている空き家対策、看板や標識類の改善を図るとともに、台ヶ原地区の住民間で締結された経緯がある「まちなみ協定」のようなルールづくりの普及を図ります。



・ 旧甲州街道のみちすじ



・ 沿道の民家

観光拠点としての活力を高める

- ・ 既存の地域イベントの充実・発展を図るとともに、後述する地域観光ルート（環状ルート）に組み込み、観光マップ等による積極的なPRにより、地域の新しい観光ゾーンとして活性化を図ります。



・ 道の駅はくしゅう



・ 武川町農産物直売センター

環状の回遊ルート周辺ゾーン

現状と課題

- 甲斐駒ヶ岳山麓の道の駅はくしゅう～尾白の森名水公園べるが～フレンドパークむかわ～石空川・精進ヶ滝～山高神代桜などを結ぶ既存の観光ルートのゾーンで、甲斐駒ヶ岳の眺望、尾白川や大武川、石空川の清流、里山と田園集落地が一体となって特徴的な景観を形成しています。

現在、山麓沿いに甲斐駒ヶ岳広域農道の整備が進められています。

- 地域の代表的な観光ルートとしての魅力づくりや甲斐駒ヶ岳広域農道の整備に併せた新たな観光ルートづくりなど、魅力的な地域資源を生かしたまちづくりが望まれます。

景観形成の目標

「甲斐駒ヶ岳と名水の里」にふさわしい「四季の眺望・風景を巡るルートづくり」による景観形成を目指します

景観形成方針

環状の周遊ルートの魅力を高める

- ・ 既存の観光ルートについては、潜在的な地域資源の顕在化を図ると共に、サイン、良好な眺望場所、駐車場、トイレ等の整備、花植え、耕作放棄地の有効活用、散策ルートの活用等により、周遊ルートとしての魅力の向上を図ります。
- ・ また、現在整備中の甲斐駒ヶ岳広域農道についても、景観に配慮した道路整備の促進を図るとともに、良好な眺望を生かした新たな周遊ルートとしての魅力づくりを進めます。



・ べるが通り



・ 武川地区の田園風景



・ 甲斐駒ヶ岳広域農道

石空川周辺の魅力を高める

- ・ 石空川周辺については、精進ヶ滝を結ぶ散策ルートの整備や柳澤氏ゆかりの歴史資源等を活用して、新たな周遊ルートとして魅力の向上を図ります。



・ 石空川の渓谷



・ 石空川に架かる吊り橋



・ 柳澤寺の六地藏石鐘

周遊ルートの景観を改善する

- ・ 周遊ルート沿いの景観上問題となっている耕作放棄地、里山の荒廃、ごみの不法投棄、屋外広告物や幟旗などについては、一定のルールに基づき改善に努めます。

観光ゾーンとしての活性化を図る

- ・ 既存の観光レクリエーション施設の魅力の向上、地域の散策風景マップづくりと積極的な観光PR、地域イベントの充実等により、「甲斐駒ヶ岳と名水の里」にふさわしい観光ゾーンとして活性化を図ります。



・ 尾白の森名水公園べるが



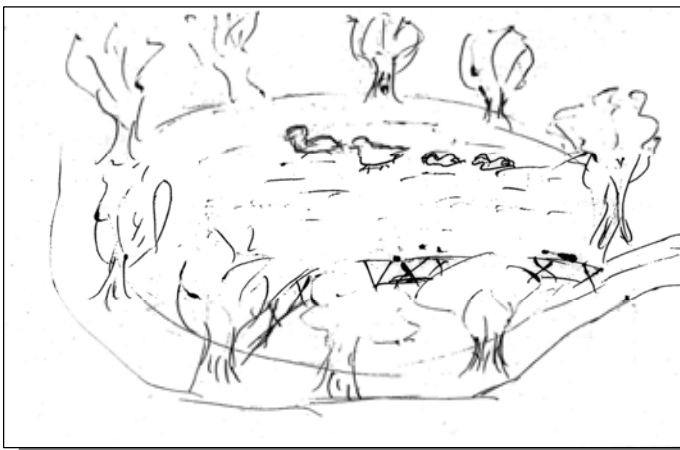
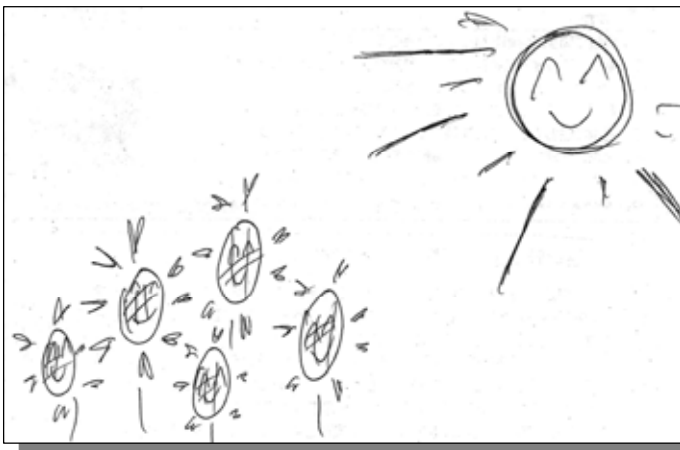
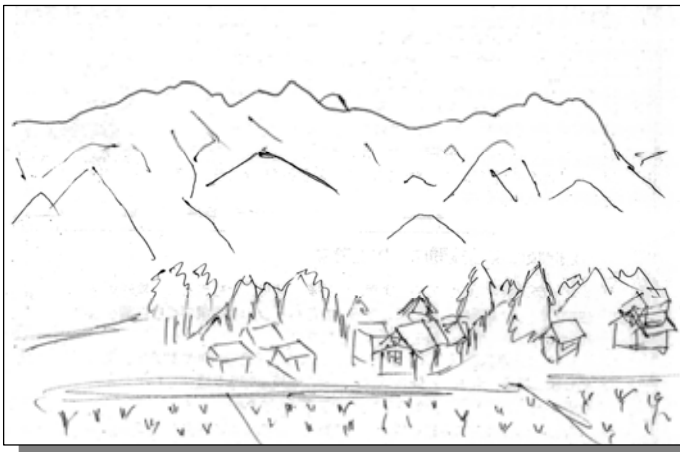
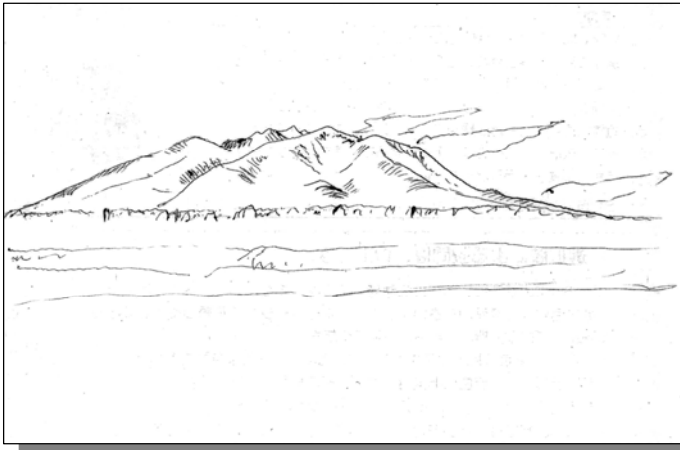
・ 尾白川渓谷



・ 山高神代桜



・ 真原の桜並木



●掲載の絵は、平成19年7月に実施した「景観アンケート調査」の自由記入欄（私の好きな北杜市の風景）に描かれた絵の中から抜粋しました。